2015

第23回外国人技能実習生・研修生日本語作文コンクール

優秀作品集

The Award-winning Essays Collection of
Japanese essay contest for
technical interns and trainees

外国人技能实习生・研修生
日语作文竞演　优秀作品集

公益財団法人　国際研修協力機構

はじめに

JITCOは、技能実習生・研修生の日本語力向上を目指して各種の日本語教育支援をおこなっております。その中で「外国人技能実習生・研修生　日本語作文コンクール」は、全国の技能実習生・研修生が心を込めて書き上げた作文が一堂に会する場として、1993年から今日まで長年にわたり皆様に親しまれてまいりました。

第23回を迎えた今年度は、2,144編の作品が寄せられました。３段階に及ぶ厳正な審査を経て、最優秀賞４編、優秀賞４編、優良賞19編、佳作21編を選出し、計48編をこの「優秀作品集」に収めました。

技能実習生・研修生の方々の日常生活で感じたことが、飾らない言葉で素直に書かれております。母国を離れ文化・習慣が異なる日本での慣れない生活に苦労しながらも、周囲の人々とコミュニケーションをとり、切磋琢磨しながら技能実習・研修に意欲的に取り組む姿が、どの作品からも伝わってまいります。ぜひご一読ください。

ここに、作品を寄せてくださったすべての皆様に心より敬意を表すると共に、技能実習生・研修生にお力添えくださった関係諸機関の皆様に厚く御礼申し上げます。

本作品集が、技能実習生・研修生の、日本語学習へのさらなる意欲につながること、また、関係諸機関はもちろん、広く一般の方々に技能実習生・研修生への理解が深まる一助となることを心より願っております。

2015年10月

公益財団法人　国際研修協力機構

理事長　鈴木　和宏

目　　次

応募状況と審査過程…… 1
講評…… 2

作品集（48編）
入賞者一覧…… 7
最優秀賞（４編）
トラン　ティ　タン　フェン　TRAN THI THANH HUYEN（ベトナム）　日本のゴミ…… 8
林　龙飞　LIN LONG FEI（中国）　塩飴から学ぶこと……10
朱　婉东　ZHU WAN DONG（中国）　輝き……12
ハー　ティエン　ズン HA TIEN DUNG（ベトナム）　親切の輪……14
優秀賞（４編）
リスナ　ヌルジャナー　RISNA NURJANAH（インドネシア）　大丈夫……16
トゥムルバートル　アズジャルガル　TUMURBAATAR AZJARGAL（モンゴル）　人間の価値……18
ルハグワドルジ　ナンデン-エルデネ　LKHAGVADORJ NANDIN-ERDENE（モンゴル）
携帯電話ショップで知った日本人の優しい心……20
张　翠翠　ZHANG CUI CUI（中国）　健康の相手……22
優良賞（19編）
朱　祥琴　ZHU XIANG QIN（中国）　今、一番大事なこと……24
ビャンバジャブ　エネレルサイハン　BYAMBAJAV ENERELSAIKHAN（モンゴル）
日本でのリアル･ライフ……25
张　春梅　ZHANG CHUN MEI（中国）　努力して結果がでなくても経験が残る……26
杨　洋　YANG YANG（中国）　お弁当……27
陈　欣静　CHEN XIN JING（中国）　急がば回れ！……28
ルオン　ティ　ヴー　マイ　LUONG THI VU MAI（ベトナム）
日本に来て、初めてしたこと。……29
グエン　キム　ニュン　NGUYEN KIM NHUNG（ベトナム）
「すみません」と「ありがとう」の力……30
カウソ　ジョエル　デラ　クルーズ　CAUSO JOEL DELA CRUZ（フィリピン）
日本をささえるしょくにんから学んだこと……31
兀　涵　WU HAN（中国）　食堂での思い出……32
陆　国超　LU GUO CHAO（中国）　日本に来たわけ……33
高　洋　GAO FENG（中国）　狭い道広い度量……34
ツェレンドルジ　ホロルマー　TSERENDORJ KHOROLMAA（モンゴル）
働く者に貧乏なし｜働けば回る｜……35
ヴー　ティ　ズエン　VU THI DUYEN（ベトナム）　箸から教訓……36
チャン　ヴァン　ユン　TRAN VAN DUNG（ベトナム）　「気持ち」という教訓。……37
黄　伟民　HUANG WEI MIN（中国）　白衣の天使……38
姜　林丽　JIANG LIN LI（中国）　仕事と勉強……39
毛　蓓蓓　MAO BEI BEI（中国）　料理の力を、信じている……40
リアン　アディ　ヌグロホ　RIAN ADI NUGROHO（インドネシア）　畜産の環境……41
余　俊　YU JUN（中国）　勇敢 ― ＹＯＵ　ＣＡＮ……42

佳作（21編）

レ　ティ　キム　フゥオン　LE THI KIM PHUONG（ベトナム）　日本と夢……43
梁　容怡　LIANG RONG YI（中国）　サービスの真髄……44
レ　ティ　ジェウ　フオン　LE THI DIEU HUONG（ベトナム）　私の家族と日本のお母さん……45
范　东梅　FAN DONG MEI（中国）　仕事をする前に大切な事……46
臧　春彦　ZANG CHUN YAN（中国）　桜と私……47
齐　婉婷　QI WAN TING（中国）　「おはよう」がくれるぬくもり……48
李　姗姗　LI SHAN SHAN（中国）　人生の新たな出発……49
ゲレルバドラフ　ビャンバセルジ　GERELBADRAKH BYAMBASERJ（モンゴル）
日本で印象に残ったこと……50
姜　亚萍　JIANG YA PING（中国）　縫製……51
グエン　タイン　ソン　NGUYEN THANH SON（ベトナム）　品質管理……52
ガンバートル　ゾルザヤ　GANBAATAR ZOLZAYA（モンゴル）　ボルトの教え……53
ウラムネメフ　ノミン－エルデネ　ULAMNEMEKH NOMIN-ERDENE（モンゴル）
兄さんの気持ち……54
王　春花　WANG CHUN HUA（中国）　大丈夫だよ……55
谭　立艳　TAN LI YAN（中国）　日本でのこの２年の実習の感想……56
温　雪娇　WEN XUE JIAO（中国）　私が感じた日本と日本人……57
朱　秋玉　ZHU QIU YU（中国）　研修の旅路……58
李　斌　LI BIN（中国）　実習感想……59
レー　ティ　フーン　LE THI HUONG（ベトナム）　「メモを取る」……60
韩　璐　HAN LU（中国）　感動……61
王　晓华　WANG XIAO HUA（中国）　最大の努力で何事も克服……62
田　如梦　TIAN RU MENG（中国）　一期一会……63

応募状況と審査過程

１．応募総数　2,144編

国籍別内訳

中国	1,373編
ベトナム	549編
インドネシア	97編
タイ	50編
ミャンマー	40編
モンゴル	20編
フィリピン	13編
カンボジア	2編

２．審査過程

審査は、例年どおり3段階で行った。第１次審査はJITCO職員が担当し、内容と日本語能力の観点から、上位50編を選出した。続く第２次審査では、JITCO役員５名による総合評価に基づき、27編が選ばれた。最終審査では、外部有識者を含む５名の委員が審査に当たり、審査委員会における協議を経て、最優秀賞４編、優秀賞４編、優良賞19編の入賞作品及び佳作を決定した。

最終審査委員

委員長　関口　明子　（公益社団法人国際日本語普及協会　理事長）
委　員　坪田　秀治　（日本商工会議所　参与）
委　員　関野　陽一　（山梨英和大学　非常勤講師）
委　員　鈴木　和宏　（公益財団法人国際研修協力機構　理事長）
委　員　新島　良夫　（公益財団法人国際研修協力機構　専務理事）

講　　評

審査委員長　関　口　明　子

ＪＩＴＣＯ日本語作文コンクールは本年で23回を迎えました。回を追って実習生、研修生の日本語力や文化理解等のレベルがあがってきていることを今回の審査でも実感しました。また、今回は特に素晴らしい作品が多く、審査は大変だろうと思っていました。しかし、結果は審査員の意見が不思議なくらいほぼ全て一致していたのです。

これも今年の特徴だと思います。

今回のテーマは「技能実習・研修 生活を通して感じたこと」でした。テーマの範囲が昨年より広がったこともあって、集まった作文は多種多様な内容でした。

今までは特に実習生活、研修生活の中で、失敗をして上司に注意を受ける。しかし、自分としては納得できない部分があったが、あることをきっかけに気づき、反省し、そうだったのかと感動したりする内容が多かったのですが、今回は少し違っていました。

具体的にみていきましょう。最優秀賞は４名です。まず「日本のゴミ」トラン ティ タン フェンさん（ベトナム）です。日本のゴミに関しては分別の複雑さや素晴らしさについてよく言われていますが、フェンさんの視点が大変ユニークで新鮮な感動を覚えました。直したらまだ使えるきれいな自転車やテレビがゴミ置き場に置いてある。勿体ない。お父さんの仕事が修理屋ということで、子どもの頃からお父さんの修理で多くの自転車、テレビ、バイクがよみがえった姿を見てきたからでしょうか。フェンさんは、どうして日本人はこんな無駄をするのだろうかと思ったのです。

そしてフェンさんは気づきました。日本は人件費が大変高いということ、直すよりも新しいものを買う方が安い場合が多いということを。そして日本は新しくできないものには高くても修理する、世界遺産の姫路城は28億円かけて修理したことを。そして次のような提案も入っていました。日本の粗大ごみをベトナムに送ったら日本はゴミが減り、ベトナムは修理費が大変安いので、非常に助かるということです。自分の構想を生き生きとした文章で述べています。全審査員が迷うことなく最高点を入れました。

二人目は「塩飴から学ぶこと」林龙飞さん（中国）です。暑い時に会社が用意する飴についての考察です。林さんの友人の経験です。会社が提供する塩飴がなくなっているので上司に頼んだら丁度なくなっていました。他の日本人社員が塩飴を渡してくれました。自分で用意して持ってきた塩飴だったのです。日本は公共サービスが優れていることは有名ですが、実は受ける側のマナーの良さ、サービスは受けるが、

できるだけ自分のものは自分で用意する。サービスを受ける権利を過度に主張しないこと。こういった無形の規則の理解があってこそ、実習の知識や技術がスムーズに修得されると林さんは書いています。日常の小さな普通の日本人の行動を通して、心の奥にある、他の行動にもみられる共通性に気付いたのです。この深い洞察力には驚きです。

３人目は「輝き」朱婉东さん（中国）です。周囲の平凡な人々が仕事に誇りをもって働いている姿を見て、自分の仕事にも誇りをもてるようになった朱さんの気持ちを書いたものです。中学卒の自分の学歴、そして仕事も単純作業として見下されるのが怖くて人に話したくなかった。日本に来て縫製を教えてくれる指導員のおばさん、清掃員の方、荷物を運んでくる運送屋さん、どの人も明るく自分の仕事を丁寧にきびきびと行っている。それぞれがプライドをもって、顔が輝いて見えた。そうだ自分の仕事は人々に喜んでもらえる素晴らしい商品を作っているんだと思うと体中に不思議な力が湧いてくる。私は指導員のような立派な職人になる。私はきっと輝く。と書いて終わっています。朱さんの心の変化、一番大切な変化。自分の仕事に対する自信と誇りがふつふつと湧いてくる様子が、落ち着いたタッチで書かれています。感動的な作品です。

４人目は「親切の輪」ハー ティエン ズンさん（ベトナム）です。ホームシックになった筆者は日本語ボランティアの親切に救われました。自分もその輪を広げたいと素直な文で書いています。日本人のさりげない親切に触れたことで、ベトナムに帰ったら技術だけでなく、日本で学んだ親切の輪も祖国に広げたいという夢で作文は終わっています。ズンさんの優しいまなざしが感じられる作品です。

次に優秀賞４名です。「大丈夫」リスナーヌルジャナーさん（インドネシア）
「人間の価値」トゥムルバートルアズジャルガルさん（モンゴル）、「携帯電話ショップで知った日本人の優しい心」ルハグワドルジ ナンデン-エルデネさん（モンゴル）、「健康の相手」张翠翠さん（中国）。４作品共に日常生活の中でのさりげない出来事での気づきを丁寧に描いている心温まる作品です。

今回の大きな特徴は最優秀、優秀作品とも日々の実習生活の中のさりげない日常の出来事を外国人の目でとらえた気づきや感動を記述したものです。表面には出てこない奥深い心の機微や文化の違いを何とも鮮やかに、しっとりと描いています。ＪＩＴＣＯの作文コンクールもここまで来たのかと感慨深いものがあります。

第23回 JITCO 作文コンクールの審査を終えて、技能実習や研修に真剣に取り組むアジアの若者たち、彼らを支える周囲の日本人たちの真摯な姿、そしていままで担ってきたＪＩＴＣＯの役割の計り知れない大きさを、一人でも多くの方々に知っていただきたいと、改めて強く思いました。

来年も素晴らしい作品を楽しみにしています。

作　品　集

※作品は、原文のまま掲載しています。

「第23回外国人技能実習生・研修生日本語作文コンクール」入賞者一覧

■最優秀賞■

氏名	作品タイトル	国籍	職種	実習実施機関	監理団体名
トラン ティ タン フェン	日本のゴミ	ベトナム	機械検査	株式会社寳角ギヤー	ビジネス・コープ協同組合
林　龙飞	塩飴から学ぶこと	中国	工業包装	マップス株式会社	西日本海外業務支援協同組合
朱　婉东	輝き	中国	婦人子供服製造	株式会社中予ソーイング	えひめファッション産業協同組合
ハー ティエン ズン	親切の輪	ベトナム	工業包装	廣内圧延工業株式会社	共進情報事業協同組合

■優秀賞■

氏名	作品タイトル	国籍	職種	実習実施機関	監理団体名
リスナ ヌルジャナー	大丈夫	インドネシア	非加熱性水産加工食品製造業	株式会社田藤水産	公益社団法人日本・インドネシア経済協力事業協会
トゥムルバートル アズジャルガル	人間の価値	モンゴル	機械検査	藤田螺子工業株式会社	椿インタワークス協同組合
ルハグワドルジ ナンデン-エルデネ	携帯電話ショップで知った日本人の優しい心	モンゴル	機械検査	藤田螺子工業株式会社	椿インタワークス協同組合
张　翠翠	健康の相手	中国	電子機器組立て	株式会社エヌビーシー	公益財団法人日中技能者交流センター

■優良賞■

氏名	作品タイトル	国籍	職種	実習実施機関	監理団体名
朱　祥琴	今、一番大事なこと	中国	婦人子供服製造	有限会社プチレダ	ＰＮＪ事業協同組合
ビャンバジャブ エネレルサイハン	日本でのリアル･ライフ	モンゴル	機械検査	藤田螺子工業株式会社	椿インタワークス協同組合
张　春梅	努力して結果がでなくても経験が残る	中国	機械加工	株式会社ミズノマシナリー	富瀋国際事業協同組合
杨　洋	お弁当	中国	電子機器組立て	株式会社ミックコントラクトサービス	エコノ協同組合
陈　欣静	急がば回れ！	中国	電子機器組立て	紀南電工株式会社	ＥＬＣ事業協同組合
ルオン ティ ヴー マイ	日本に来て、初めてしたこと。	ベトナム	機械加工	シバタ精機株式会社	福岡素形材産業協同組合
グエン キム ニュン	「すみません」と「ありがとう」の力	ベトナム	内装仕上げ施工	株式会社川島セルコンソーイング	関西経友会事業協同組合
カウソ ジョエル デラ クルーズ	日本をささえるしょくにんから学んだこと	フィリピン	内装仕上げ施工	株式会社秋山内装	協同組合中遠海外技術研修センター
兀　涵	食堂での思い出	中国	電子機器組立て	ヤマテック株式会社	関西経友会事業協同組合
陆　国超	日本に来たわけ	中国	電子機器組立て	紀南電工株式会社	ＥＬＣ事業協同組合
高　洋	狭い道広い度量	中国	プラスチック成形	エーディーエンジニアリング有限会社	北陸対外事業協同組合
ツェレンドルジ ホロルマー	働く者に貧乏なし｜働けば回る｜	モンゴル	機械検査	藤田螺子工業株式会社	椿インタワークス協同組合
ヴー ティ ズエン	箸から教訓	ベトナム	食鳥処理加工	株式会社エヌチキン	公益財団法人国際労務管理財団
チャン ヴァン ユン	「気持ち」という教訓。	ベトナム	金属プレス加工	株式会社トーコー	産学連携事業協同組合
黄　伟民	白衣の天使	中国	電子機器組立て	ヤバシテクノ株式会社	公益財団法人日中技能者交流センター
姜　林丽	仕事と勉強	中国	仕上げ	シロキ工業株式会社	Ｊプロネット協同組合
毛　蓓蓓	料理の力を、信じている	中国	電子機器組立て	株式会社エヌビーシー	公益財団法人日中技能者交流センター
リアン アディ ヌグロホ	畜産の環境	インドネシア	畜産農業	有限会社八ヶ岳清里農場	公益社団法人日本・インドネシア経済協力事業協会
余　俊	勇敢 ― ＹＯＵ ＣＡＮ	中国	電子機器組立て	ミヤ電子株式会社	東日企業連携事業協同組合

最優秀賞

日本のゴミ

トラン　ティ　タン　フェン
TRAN THI THANH HUYEN

来日直後、私は、日本語は勿論、日本の法律や地震への対処方法など色々勉強しましたが、不思議に思ったのはゴミについての勉強会でした。ゴミは捨てたらいいだけだと思っていた私にとって、わざわざ勉強する意味が分かりませんでした。

ある日、収集場所にゴミを持って行ったところ、きれいな自転車、テレビ、冷蔵庫などが置かれていました。最初はこれらがゴミだとは気づかず、売っているのかと思い、自分のゴミは持ち帰ってしまいました。日本人に確認したところ、まだ使えそうであるのにもかかわらず、これらはゴミとして捨てられているということが分かりました。ひょっとしたら壊れているのかも知れませんが、ベトナムにいる私の父が修理したら、きっとまた使えるようになるに違いないと思いました。

私の父の仕事は修理屋です。自転車､バイク、テレビなど、何でも直します。ベトナムでは、新品はとても高価であるのに対し、修理代は安いので、ゴミとは、絶対に修理できないほど完全に壊れてしまった物だけです。

日本は資源の少ない国なのに、どうして修理しないで捨ててしまうのか不思議に思いました。この前、修理屋で自転車の修理代を尋ねたところ、新品を買う倍もかかると言われ、その理由が分かりました。日本人の同僚も、「普通、修理をするより新品を買う方が安いから、修理しようとしないんだよ。」と教えてくれました。

それでは日本では、修理することは決してないのでしょうか。そんなことはありません。私が住んでいる姫路市には、世界遺産の姫路城があります。私は姫路に来た頃は、姫路城は幕のような物で覆われており見ることができませんでした。修理が行われていたのです。修理が終わった今は､美しい姿を見ることができますが、この「平成の修理」の事業費は28億円もかかったそうです。

私は気づきました。私は働いている工場もそうですが、日本の工場では産業用ロボットが多く導入されていますから、新品を製造するコストは低いのでしょう。一方、修理は作業の態様が様々ですから、ロボットで行うことはできず人間の手で行うことになります。日本の人件費は高いですから、修理代も高くなり、文化財のような新品に替えられない物を除いては修理しようとしないでしょう。

ところで私は、日本のゴミに関して、もう一つ驚いたことがありました。瓶、缶、新聞紙など、リサイクルに備えて分別されていることです。この点に関しては、燃えるゴミと燃えないゴミの分別すら行っていないベトナムの方が無駄が多いと気づかされました。

しかし、資源に限りがあることを考えると、修理できるのに捨ててしまうのは、勿体ない話です。日本のゴミをベトナムに送って修理できたら、日本はゴミが減りますし、ベトナムは生活が豊かになるので、両国にとっていいことなのになあと残念に思います。

受賞の喜び

トラン　ティ　タン　フェン

国　　籍　ベトナム
職　　種　機械検査
実習実施機関　株式会社寶角ギヤー
監 理 団 体　ビジネス・コープ協同組合

最優秀賞に選んでくださり、誠にありがとうございました。来日してずっと、「なぜ日本には修理屋さんよりゴミ収集場が多いのだろう」と不思議に思っていました。それで、「日本のゴミ」をテーマとして、いつも苦労しながら修理している父のことも書きました。

今回の受賞は、私を支えてくださっている皆様のお陰です。日本語の先生は、日本文化、礼儀などを教えてくれて、日本語の勉強以外のことも色々相談に乗ってくださいます。遠く離れた場所から、「あなたの事を信してる」と言ってくれる家族に感謝します。

作文コンクールの機会を作ってくださったＪＩＴＣＯ、いつも私達技能実習生のお世話をしてくださるビジネスコープ協同組合、技能実習の指導をしてくださる株式会社寶角ギヤーの皆様へ、感謝の気持ちを申し上げます。

この賞に恥じることのないよう、これからも仕事や日本語の勉強も頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

最優秀賞

塩飴から学ぶこと

林　　龙飞
LIN LONG FEI

中国の北方で生まれ育った私は熱中症とは全く無縁でしたから日本の夏の暑さにはとても驚きました。日本では毎年テレビなどで熱中症のニュースを見ます。私の友人も日本で実習していますが、彼女の工場はとても暑く、熱中症予防の一環で会社が塩飴を提供してくれるそうです。会社の人たちは塩飴を舐めるよう全従業員へ伝えて、無くなったらすぐ報告するよう指示するそうです。

みなさんなら、その飴を毎日もらいますか？私ならもらうと思います。会社からそのように言われたわけですから。

その友人はある日、いつものように職場リーダーに塩飴を頼んだのですが、塩飴はあいにく底をついていました。結局、通りかかった別の日本人社員が自分の塩飴を彼女にあげました。彼女はその時初めて知ったのです。皆が会社に頼らずに自分で塩飴を購入していることを。彼女はとても恥ずかしく感じたそうです。

そう言われてみると私は、会社に物を要求する日本人を見たことがありません。あれば使うけど、自分の物はできるだけ自分で準備する、それは日本人が幼少期から自ずと身につけている習慣なのかも知れません。しかし私たち技能実習生は外国人ですから､それが分かりません。

私たち外国人技能実習生は日本で技能習得に励む以上、日本人のこうした習慣や考え方をよく理解しなければなりません。例えば、日常生活に目を向けると、サービスの受け方にも日本人の特性が表れています。日本の公共サービスが優れていることは世界でも有名ですが、それよりも優れているのは実はサービスの受ける側のマナーの良さだと私は思います。私が気づいたのは、日本人がサービスを受ける権利を過度に主張しないことです。中には「より必要としている他の人に」と他の人に譲る人たちさえいます。その謙虚さは日本のサービスが世界に認知されるまでに成長した要因として欠かせないと思います。世界に目を向けると多くの国が日本にならってサービスの向上を進めていますが、受ける側に日本人のような謙虚さや自立心が無い限り、日本と同じレベルまでサービスを向上させるのは難しいと思います。提供されるサービスを利用するかしないかは個人の自由ですが、相手の立場になって考え、合理的に応用すれば他人に迷惑をかけることはないでしょう。

こういった様々な事を考え、学ぶことができるのも実習の魅力の一つです。

ただし学ぶだけではなく、私は技能実習生もこのような「無形の」規則を正しく理解するべきだと思います。そうすれば、異なる習慣によるトラブルも避けられますし、実習においても知識や技術の習得が一層スムーズになると私は信じています。

受賞の喜び

林　龙飞

国　　籍　中国

職　　種　工業包装

実習実施機関　マップス株式会社

監 理 団 体　西日本海外業務支援協同組合

先ずこの度、素晴らしい栄誉を与えてくださったJITCOの皆様とこれまで私を支えてくださった会社、組会、送出機関の皆様に心から感謝申し上げます。

私はもうすぐ三年の実習を終えて帰国します。

お世話になった会社に対する感謝の気持ちを今、ようやく成果という形にして残すことができました。

私の作文の内容は私の実習に基づくもので、これはマップス株式会社で学び得たものです。その学んだものがこの度、受賞という形で認めていただけたこと、またその栄えある結果を皆と分かち合えることをとても嬉しく思っています。

日本では自分の能力を向上、発揮できる機会は多くあります。私の会社は、日本語能力試験に限らず、日本語弁論大会、作文コンクールなど実習生のあらゆる挑戦を奨励し、サポートしてくれます。私たちが将来、有能な人材となるよう会社を挙げて多方面の教育に取り組んでくださるのです。私に技能実習の意義とその素晴らしさを教えてくださった関係者の皆様、本当にありがとうございました。

最後に私の送出機関、吉林天旨のスローガンを引用させていただきます。

「私の人生は、ここから変わる！」

最優秀賞

輝き

朱　　婉　东
ZHU WAN DONG

中学校しか卒業していない私は臆病者だつた。

縫製の仕事をしながらも、ずっと劣等感を持っていました。単純作業者として見下されるのが怖くて、自分の学歴も、職業も人に話す事が恥ずかしかった。しかし、私自身このような私は許せない、何かを見つけたい、何かを求めたい。しかし、それは何だろう？自分にも分からない。そんな私が日本へ来た。

今実習しているのは、ファッションの製造会社です。中国にいた時と同じ縫製の仕事をしているが、何故か、周りの空気が明るく、人々の顔に何かが光っている。毎日、技術指導員のおばさんの仕事姿を見ると、不思議な魅力を感じる。小さな体、メガネの下の真剣な目線、製品を縫ったり、触ったり、さしで測ったり、手を止めて見つめたり…。その時、手に持っている製品はこの人の全て。その姿が大変美しく見える。

清掃員の方も、いつも元気な顔で自信と満足感に満ちあふれている。隅から隅へ、コツコツと頑張っているその姿を見ると、不思議に心から尊敬する気持ちになる。

いつも荷物を届けてくれる運送屋さんのお兄さんが荷物を大事に両手で持ち抱え、走って持ってくる。「毎度」って元気な声で挨拶をし、それから丁寧に荷物を置いてくれる。その様子を見ると、大変格好よく、素敵に見える。

皆が平凡な人で極平凡な仕事をしている。しかし､皆が輝いているように見える。それが「プライド」ということでしょうか？自分の仕事に対する思いであり、その人のプライドだと思います。「お客様に喜んで頂ける商品を作る」それは会社の思いであり、私達従業員のプライドでもある。

どこから見ても奇麗と言えるようにするのは清掃員の思いです。荷物をより安全で早くお客様の手元に届けるのは運送屋さんの思いです。思いを持って、最善の努力をすれば、きっと最高の自分になる。その時きっと自分は輝いていると思う。

日本へ来て数ヶ月経過し、臆病であった私が「縫製の仕事をしています」と胸を張って言えるようになった。

自分が人々に喜んで預ける素晴らしい商品を作っていると思うと、体中不思議な力が湧いてくる。

私は今、過去に無かった自分を見つけた。私は、指導員みたいな立派な職人になる。私もきっと輝く。

受賞の喜び

朱　婉东

国　　籍　中国

職　　種　婦人子供服製造

実習実施機関　株式会社中予ソーイング

監 理 団 体　えひめファッション産業協同組合

今回の受賞は、日本に来て一年目の私にとって、大変な驚きと深い感動を覚えました。技能実習生として来日することを熱望しておりましたが、言葉の壁や生活習慣の違いに不安もありました。昨年十一月に来日した時に感じた新しい空気。優しい先生、技術指導者や同僚の熱心な情熱。大変新鮮に感じました。

来日後、うまく言葉が理解できない私達を管理者·技術指導者の方々が熱心に教えてくれて、言葉の壁という難しい問題も少しずつ解決しました。また、毎月のレジャー活動は、私達の生活を色添えし、私の生活はとても充実しています。

来日して約一年、仕事に勉強に、更に成長しました。中国の諺に「水往低処流　人往高処走」人は志を持ち、現在の状態に満足せず、より高いものを目ざして努力進歩しなければいけない。これは、私の信念です。今回の受賞を心より感謝します。

最優秀賞

親切の輪

ハー　ティエン　ズン
HA　TIEN　DUNG

私はベトナムの貧しい田舎で生まれ育ちました。父は早くに亡くなり、母は病弱です。自分の家族のため、ベトナムの発展のために一大決心をして、日本に来ました。

2012年７月17日に日本へ入国しました。これが、私の価値観を変える大きな転機となりました。

日本に来た当初は、今まで見た事のない高層ビルや、忙しく行き交う人々、満員電車を見て、日本でのこれからの生活に期待に胸がふくらみました。しかし、言葉の壁やなかなか上達しない実習でホームシックになりました。

そんな時に、私を救ったのは日本人の温かさでした。

私は、日本語教室に通っています。そこでボランティアで日本語を教えてくださっている先生は、自分の時間を割き、日本語のみならず、日本の生活習慣について自分の子供のように教えてくださいました。ある時、「どうして日本語を外国人に無料で教えているのですか」と私が聞くと先生はただ微笑んでいるだけでした。そして、「一生懸命勉強して、日本語が上手になったら、あなたのような人に日本語をボランティアで教えてください」とおっしゃいました。私は、感動してただうなずく事しかできませんでした。

ある日、駅のトイレで携帯電話の落とし物を拾いました。誰かが困っているだろうとすぐに駅員室に届け、自分の連絡先を告げませんでした。

翌日、会社の先輩にその話をすると、「ズンさんは日本人みたいですね、どうして自分の連絡先を教えなかったのか」と言われましたが、それは私が日本で学んだ「日本の心」が自然と出たものでした。

日本では、道でゴミ拾いをする人、道に迷った人を助ける人、落とし物を届ける人をよく見ます。自分の利益を考えるのではなく他者に施す事、良い行いをする事で自分も幸せになれるという事を私は深く学びました。

私の３年の実習はあっと言う間で、日本での技能実習が間もなく終わろうとしています。日本に来て、私の生き方や考え方は大きく変わりました。会社での技能実習はもちろんのこと、「為せばなる」という言葉を胸に毎日早起きをして３時間日本語を勉強しました。その努力が実を結び、日本語能力試験２級に合格しました。私が日本に来て初めて泣いた時でした。

私はいま、夢があります。ベトナムへ帰国後、私は日本で学んだ親切の輪を祖国にも広げたいです。

受賞の喜び

ハー　ティエン　ズン

国　　籍　ベトナム
職　　種　工業包装
実習実施機関　廣内圧延工業株式会社
監 理 団 体　共進情報事業協同組合

今回この素晴らしい賞を頂くことを光栄に思います。

この作文を書く時には結果を考えていませんでした。ただ、日本での三年間の自分の話を書きたいと思い、その上で私に色々教え、助けたりくださった方々にお礼を申し上げたいという思いで作文を書きました。それは、会社の方や組合の方、日本語ボランティアの先生等でした。

帰国後に組合の方から連絡があり「作文が最優秀に選ばれた」というお知らせを聞き、大変嬉しく、この喜びを母に伝え、作文をベトナム語でもう一回聞かせて母と泣きました。家族や友人、日本語の先生から多くのお祝いのというメールが届き本当に嬉しかったです。

これから日本で勉強できたことを皆に教えたいと思い、自分自身の生活も仕事ももっと頑張って、日本の親切の輪をベトナムでも広めたいと思います。

優秀賞

大丈夫

リスナ　ヌルジャナー
RISNA　NURJANAH

月日が過ぎて行く、あっという間に日本に来てもう二年以上経ちました。もうすぐ実習が終わり帰国です。来たばかりの頃は色々なことを悩んでいました。仕事や生活や日本語のことを早く慣れるように大変苦労しました。この旅は感じたことや経験したことが山ほど有り、凄く勉強になりました。

幼い頃から日本が憧れの国なので、日本に来ることができ、凄く嬉しいです。本当は親が反対したけど、結局納得してもらいました。私には希望、目的、計画が有り、その夢に向かって全力で足掻きたいと思います。私の人生は私のものですから、自分で決めたいです。

最初は辛い日々と感じました。居ても立ってもいられない日々を過ごしました。日本語も分からないし、仕事も覚えられず、皆様に迷惑ばかりかけてよく厳しく注意されました。どうしようかな？本当に悔しくて笑顔で我慢しかできない。一晩中泣いたり､不安でならない。でも、諦めるのはまだ早い。どんなに大変でもやり遂げてみせると心強く前に進む。一度決めたからには最後まで頑張らなきゃ。

毎日日本語の勉強を中心に活動です。日本語が上手くできれば、仕事ももちろん生活も楽になると思います。私はイスラム教徒です。イスラム教には豚の要素やアルコールが含まれている食品を食べるのは禁じられています。買い物の時、商品を選択しないといけません。漢字が読めなくて時間がかかり、困まったな。

イスラムは日本の生活と違う所が多いです。一日に五回お祈りしたり、断食したり、更に女性はヒジャブというものを被ったりすることが義務づけられています。日本人から見ると変でも、神様の命令を違反せずに日本で活躍して、日本人と仲良くしたいです。

このあいだ、イスラム国は日本全国に噂が流れました。ある人物が日本人に酷いことをして、イスラム教が悪い印象になってしまいました。私まで疑われる気がして、とても悲しいです。本当にイスラム教徒なら、そんなことやるわけがないと思います。私はお祈りしかできません。きっと神様が助けてくれて真実は明らかになると信じています。

両親と離れて親の有難味をしみじみと感じました。私は料理のことが苦手でお袋の味が食べたくて家族のことをよく思い出して会いたくてたまらない。電話するのが楽しみです。声を聞くだけで遠くにいても近くにいると感じます。悩んでいることを全部話しました。母はいつもこう言います。「大丈夫。しっかりしなさい、あなたならできる」その言葉を聞くと自信が出て来て、立ち上がりました。

やっと、ここまで来て着々と仕事ができ、日本語もＮ２に合格できて生活も徐々に慣れて来ました。イスラムの事も理解されてきて安心です。全ては皆様のおかげです。支えがあってこそ今の自分があると思います。いくら苦しくても一度も後悔した事が有りません。私にとって何よりも貴重なお土産になります。やっぱり、日本に来てよかった。有難う日本。

受賞の喜び

リスナ　ヌルジャナー

国　　籍　インドネシア
職　　種　非加熱性水産加工食品製造業
実習実施機関　株式会社田藤水産
監 理 団 体　公益社団法人日本・インドネシア経済協力事業協会

今回の作文コンクールで優秀賞を頂くことができるなんて、夢にだに思いませんでした。信じられないほど驚きました。凄く嬉しくて言葉で伝えられません。私にとって貴重な経験なので、一生忘れない思い出になります。

初めに、神様に感謝致します。このチャンスを与えてくださったＪＩＴＣＯ、ＪＩＡＥＣの皆様へ心よりお礼申し上げます。色々と指導してくださった会社の方々や先生たちや応援してくれた仲間達へも本当に感謝します。

こんな素晴らしい賞を預けるのは皆様のおかげだと思います。支えがあってこそここまでやってきました。誠に有難うございました。最後に、今まで私のわがままのことを理解してくれた両親に心を込めて「ありがとうございます」と言いたくて抱きしめたいです。

作文で日本での思いを皆様に伝えられた事が幸せです。これからも更に頑張っていきたいと思います。また宜しくお願い致します。皆、大好きです。本当に有難うございました。

優秀賞

人間の価値

トゥムルバートル　アズジャルガル
TUMURBAATAR　　AZJARGAL

私は、日本に来たときから知らないことやわからないことがいっぱいありました。私は思っていました。私は何ができるか、何ができないか。私は今まで、自分にできる事とできない事を分けていました。でも、あの日からそう思うのは正しくないということを学びました。

ある夏の暑い日、私は買い物しに家を出ました。天気が良かったので、スーパーまで歩いて行きました。その道の途中、とある家の庭から女性の楽しく話す声が聞こえてきました。声のする方を見てみると、80歳くらいの夫婦が二人で家の窓に日除けをつけていました。一人は150センチぐらいの脚立に登って、もう一人が使う物を取ってあげていました。私はその二人を見て、モンゴルにいる祖父母を思い出しました。その事もあってかおじいさんが階段に登るのは危ないと思って助けに行きました。

「お手伝いしましょうか。こんな高い所に上るのは危なくないですか。私が上りましょうか。」と私は聞きました。すると二人はやさしい顔をして、「大丈夫、私はこれより高い脚立にも登れるよ。心配してくれてありがとう。」と言いました。私はびっくりして、お年寄りなのにすごいなと思いました。

それから三人で少しお話をしました。二人は二つ目の窓に日除けをつけていました。「私たちはこんなことも自分でできるよ。自分たちでやらずに、他の誰がやってくれるのを待つのはダメ。歳をとった人も若い人も、自分は何もできないと思ったらできない、できると思ったらできるんだよ。」と言いました。

その話を聞いたとき、私は出来ないと思った事でもまず１回やってみる事が大切だと学びました。それは物事を成功させるチャンスを逃さないという意味です。けれど、それは簡単な事ではないと思います。人はどうしても、やる前にできないと自分の前に壁を立ててしまいます。しかし、その壁を取り払いたとえ小さいことであっても成功させることが出来れば、「私にも出来るんだ」と達成感を味わうことができ、その先に大きな喜びが待っていると思います。

私が働いている会社でも、仕事中に「あなたはこの仕事ができますか、一人でやれますか。」と聞かれることがあります。私はこれをチャンスだと思い色んなことにチャレンジしていきたいです。

受賞の喜び

トゥムルバートル　アズジャルガル

国　　籍　モンゴル

職　　種　機械検査

実習実施機関　藤田螺子工業株式会社

監 理 団 体　椿インタワークス協同組合

今回、この「日本語作文コンクール」で優秀賞をいただくことが出来てとても嬉しく思っています。私に色々な事を教えてくれた藤田螺子工業の皆さん、励ましあい頑張ったモンゴル人実習生の仲間たちに感謝の気持ちを伝えたいです。

日本での生活は何もかもが新鮮です。日本の文化や最先端の技術を間近で学ぶ事ができ、毎日がとても楽しいです。このようなチャンスを預けた事をとても嬉しく思っています。

特に、日本人の人生観はとても興味深く、日本人の思いやりの精神や仲間を大切にする気持ちには、気付かさせる事が何度もありました。

母国を離れて海外で生活する事は、色々な事を知る事が出来るチャンスたと思います。私が帰国するまでに、もう四ヶ月しかありません。残された時間を悔いが無いように過ごしていきたいです。

優秀賞

携帯電話ショップで知った日本人の優しい心

ルハグワドルジ　ナンデン-エルデネ
LKHAGVADORJ NANDIN-ERDENE

現在、私たちの日常生活は通信手段がないと不便です。国と家族から離れて日本に研修に来た私にとって最初は携帯電話を持ってなく、家族と連絡が取れずとても困りました。ある日、携帯電話を持つために携帯電話ショップへ行きました。店へ行く途中で「私の日本語能力は、そんなに高くないので、どうやって店員さんと会話をするか」と思い心配しながら歩きました。とても心配でしたが携帯電話を持つ事は私にとって、とても重要な事だったので店に入りました。入ると店員さんは、ほほ笑みながら優しい声で「いらっしゃいませ。」と言ってくれました。すると不思議な事に私の心の中にあった、どうやって理解してもらうのか、と言う心配は全部なくなりました。私は席に座り欲しい携帯電話を伝え私と店員さんの二人の会話が始まりました。最初のうちは私の言葉が、よく分からず私もまた店員さんの言っている事が理解できませんでした。私は、店員さんが怒るかもしれないと思いました。でも店員さんは少しも怒らず、もっと優しく接して私の言葉を理解するように頑張ってくれ、必要な手続きを教えてくれました。私たちは一時間ぐらい会話をしてお互い、よく理解し私は携帯電話を持つ事が出来ました。「ナンディア様あちらの椅子に座って少々お待ちください。」「はい分かりました。」店員さんは私の携帯電話を持って隣の部屋へ行き、すぐに戻って私の方に歩いて来ました。店員さんは私の隣に来て膝を曲げて、ほほ笑みながら「お待たせいたしました。」と言って携帯を置きました。その時、私はびっくりしました。なぜなら私の国では本当に悪い事をして謝る時でも膝を曲げるなと言われています。だから私は、この時、店員さんが何をするのか分からなくて慌てました。膝を曲げた事に感動すると共に私は偉い人ではないのにと思いました。そして「ありがとうございます。」とお礼を言って店を出ました。その後、いろいろ考え、店員さんが膝を曲げた事は私を尊重してくれたと思っています。

日本人は悪い事をしなくても「すみません。」や「ごめんんさい。」と言い、挨拶する時に頭を下げ、お互いを尊敬する事が一番大切な習慣と考えています。また困った時に日本人は嫌な顔をせず熱心に助けるという事も知りました。仕事で悩んだ時、周りの日本人の助けと優しい心を日々感じて何の心配もなく私は生活をしています。こんなに親切な人の中にいる私も前より優しくなっていると感じています。

日本に来た研修生たちは、日本の技術を学ぶと共に、一番大切な日本人の優しい心と、お互いを尊敬する事を身につけ帰国すると、もっと楽しい暮らしができると思っています。お互いを尊敬する事から良い交流ができると思っています。だから日本の社会は平和で、この国に来た私たちは幸運です。みんなで日本の心を身につけ世界に広めましょう。

受賞の喜び

ルハグワドルジ　ナンデン-エルデネ

国　　籍　モンゴル

職　　種　機械検査

実習実施機関　藤田螺子工業株式会社

監 理 団 体　椿インタワークス協同組合

私はルハグワドルジナンデンエルデネ「ナンディア」と言います。

今回の作文コンクールの優秀賞をいただけて、本当にうれしいです。私は技能研修生として去年十月に日本に来ました。

日本の文化、気候、生活は私の国モンゴルといろいろな違いがあり私には、おどろきと関心の連続です。何よりも「日本人の心」にとても感心しました。

この作文は私が実際に体験した、日本人の心について感じた事です。今年の作文コンクールのテーマと私が体験した事がちょうど一致したので皆さんにも私の気持ちを伝えたくて、この作文を書きました。

私をいつも援助してくれる藤田螺子工業の皆さんに心から感謝致します。日本にいる間、さらに日本語を学び、いろいろなことを体験して帰国したいと思っています。

優秀賞

健康の相手

张　　翠　翠
ZHANG CUI CUI

日本に来てから４ヶ月が過ぎました。初めて実習生として来日し、センターで受けた講習はとても楽しくて、一生忘れがたい思い出になりました。

この４ヶ月間、なんか月日のたつのが速いと思います。入社した後、もっとも感じさせられたことは健康ということです。入社したばかりで、きっとおかしいと思われるでしょうが、人間として健康はもちろん大切なことです。しかし、仕事をやっていく内に私はこの言葉の意味を考え直しました。健康の相手は人間だけではなく、電子部品でも健康があるのです。

会社に入社したばかりで、初めて組立ての仕事をした時､作業の手順とか細かい注意点とか､うまく理解できなくて、悩んだこともありました。その時、私はほんとうにできるかいつも自問していました。私の仕事は電子部品を組付けることです。できあがった部品を検査して、不良品があるかどうかを確認することです。最初に工場を見学した時、あぁこれがこれからやる私の仕事なんだ。意外にやさしいじゃんと思っていたが、実際にやれば気をつけなければならないことがいっぱいありました。

ある日、作業中にうっかり部品を落としてしまいました。私は考える間もなく、すぐ部品を拾うつもりでしたが、一緒に作業する日本人の先輩は私を止めました。「拾わないで、まずは非常ベルを押して、準直さんを待ってるの、勝手に拾ってはいけませんよ。」と言いました。実はどうして拾ってはいけないのかよくわかりませんでした。落としたが、部品をこわさなかったら、大丈夫じゃんと思いました。私の戸惑いに気づいた日本人は私にこう言いました。我社は車の電子部品を生産しています。現在、車は世界中でもっとも便利な乗り物であり、車の品質は何よりも大切なことです。人間の安全は車の品質いかんにかかっています。落下した部品は損なってしまう訳ではないですが、二度と使うことができません。小さな事でも、まかり間違えば大変な事になりかねないです。そうですね。私はやっとわかりました。それは部品の健康状態じゃないですか。部品の品質保証は私たちの使命です。そうしないと、品質どころか車の安全を守ることもできません。別の会社で働いている友達は文句を言いました。会社は千分の２の不良品を見つけるために、２時間残業になるそうです。私はそれがありがたいことだと思います。その２時間のおかげで、不良品を発見できる上に､使用者の健康も守りました。大変なやり甲斐があると思います。

日本人の先輩に言われたことで深刻な思いになりました。誠に感謝しています。これから生活でも仕事でも自分の健康と部品の健康を大事にして頑張りつづけたいと思います。

受賞の喜び

張　翠翠

国　　籍　中国

職　　種　電子機器組立て

実習実施機関　株式会社エヌビーシー

監 理 団 体　公益財団法人日中技能者交流センター

今回、作文が優秀賞に選ばれたこと、誠にありがとうございます。

大変すばらしい賞をいただきとても驚いていますが、うれしくて胸が喜びで一杯です。

私は日本に来てもう半年になっておりました。最初、来日後の生活が始まった時、生活や言葉、仕事で悩んだことがありました。

しかし、会社の方と先輩たちは親切に接してしてくださり、悩みが消えました。今回の受賞は多くの方々の支えがあったからこそ、受賞ができたと思っており、皆さんに心から感謝したいと思っております。

この度、受賞を得たことがすごく光栄だと思っております。これからも実習生の皆と友にこの３年間を楽しく充実した日々が送れるよう頑張っていきます。

最後にこの光栄を授与してくださったＪＩＴＣＯの皆様、誠にありがとうございました。

優良賞

今、一番大事なこと

朱　　祥琴
ZHU XIANG QIN

私は日本に来たばかりの頃、習慣の違う環境になかなか慣れませんでした。そして、私はあることをきっかけにひとつの生活習慣を見つめ直すことになりました。

私は日本へ行ったらパソコンで家族とテレビ電話で話すことを楽しみにしていました。仕事が始まってすぐ、先輩実習生にインターネットの環境について聞くと、寮にはインターネットがないことが分かりました。私はショックを受けました。中国にいた時、日本は子供でも携帯電話やパソコンを一人１台持っていると聞いていたので、当然使えると思っていました。会長さんに相談すると「会社のパソコンなら昼休みに使っていいわよ」との答えが返って来ました。でも、私が欲しいのはパソコンではなく、仕事が終わった後自由に家族と話ができる環境です。昼間は主人も娘も仕事や学校なので話すことはできません。それに他の人には聞かれたくない家族との会話もります。「会長さんはおばあさんだから私の気持ちを分かっていない」と私は思いました。私には３年間、主人や娘の顔を見られずに過ごすなんて考えられません。２人の先輩は普通の電話だけで過ごしていましたが、私はどうしても諦められませんでした。私は悔しくて涙が溢れました。その様子を見ていた会長さんは「私にも家族があるから寂しい気持ちはよく分かります。でも会社に来たばかりの今は仕事に集中することが大事です」と私に言いました。どうしてテレビ電話と仕事への集中とが関係あるのか私には理解できませんでした。そして、その感情がついに爆発してしまいました。私は会長さんに「子供のそばで暮らしている会長さんには家族と離れている私の気持ちなんて分からない」と怒りをぶつけました。その時、会長さんはとても悲しそうな顔をしていました。　　それから数日後、会長さんは私の希望を聞き入れてくれました。初めてパソコンで娘の顔を見て話ができた時は涙で声が震えました。それから毎日私はテレビ電話で家族と話をしていました。ある日、私は風邪を引いて真っ赤な顔をしている娘を見た後、心配で仕事が手につきませんでした。またある日は、主人と些細なことで喧嘩をして一晩眠れずに朝を迎えたこともありました。その時、私は会長さんの「仕事に集中しなさい」という言葉を思い出しました。会長さんはテレビ電話によって私の心が動揺するのをわかっていたのです。中国にはこんな諺があります。「樹老根多　人老識多」老木には多くの根があるように老人には多くの知識があるという意味です。年配の方から話を聞くというのは、大きな意味があることを私は思い知りました。

私はそれからテレビ電話は週に１度だけと決め、今やるべきことに集中しようと思いました。「今一番大事なことは何か」これが私の実習生活で欠かせないテーマです。あれからもうすぐ一年になる今は、仕事も家族との関係もよく、充実した毎日を送っています。

国　　籍	中国
職　　種	婦人子供服製造
実習実施機関	有限会社プチレダ
監理団体	ＰＮＪ事業協同組合

優良賞

日本でのリアル・ライフ

ビャンバジャブ　エネレルサイハン
BYAMBAJAV　ENERELSAIKHAN

私は、自分の知識や技術を高めるために日本へ来てもう１年経ちました。今の仕事は、自動車に組みつけられるネジの検査です。ネジのある部分の寸法の振れを専用の測定器を使って計る重要な仕事です。小さなキズの見逃しや計測ミスをすれば、大きな問題になります。そうならないように、私はいつも真剣に製品を検査しています。たとえネジ１本に付いた小さなキズでも、それが自動車に組みつけられればお客様の命を危険にさらす恐れがあります。検査という仕事は、それを防ぐための重要な役割を持っています。

不良率が上がると、様々な部署の責任者が集まって、原因を究明するために会議をします。責任者たちは、不良品を実際に確認して、何がいけなかったのが、すぐに判断できます。しかし、その不良を出ないようにするのはなかなか難しいようです。

会社は、毎日何十万本ものネジをお客様に出荷します。国内はもちろん、ドイツや中国などの海外にも出荷しています。その製品はお客様のところで組つけられて１台の自動車になります。私が検査した小さな部品が、大きな自動車を動かしているのだと思うと、本当に感動します。

世界中で販売されている日本製品が高品質である理由が､働くうちに段々わかってきました。とても注意深く仕事が正しいルールで行われているか確かめられているからです。

仕事中、皆一生懸命働きます。上司も机に座らずに工場の中を動き回っています。私は最初、それが信じられませんでした。「真面目に働いている人は仕事の不満を言わない。逆に不真面目な人が不満を言う。」「人はいつどんな仕事をしていても、責任を持っていれば結果が良くても悪くてもその人の経験となって活かされる」この二つの言葉が私の今の仕事場に合っていると思いました。

「日本に来て何を学んでいますか？」ときかれたら、私はこう答えます。「毎日、私は日本人を見て色々な事を学んでいます。素敵な笑顔、明るい挨拶、規則正しい生活習慣や仕事をする姿勢、ルールを守る責任感です。」と。習慣、文化、人とのコミュニケーションなど、日本人の生活は全てルールで決められていると思います。このルールを少しずつ知る事で日本人を理解できるようになってきました。また、このルールを知らなくても日本人と一緒に生活していれば、自然と身に付くと思います。

私には、大きな夢と希望があります。少し疲れたときも､モンゴルにいる家族を思い出して、どんな困難も乗り越えていきます。モンゴルに帰ったら、自分が学んできたことを皆に教えてあげたいです。

国　　籍	モンゴル
職　　種	機械検査
実習実施機関	藤田螺子工業株式会社
監 理 団 体	椿インタワークス協同組合

優良賞

努力して結果がでなくても経験が残る

张　　春　梅
ZHANG CHUN MEI

１年前に私は実習生として日本に来ました。この１年間会社の人に大変お世話になりました。仕事と生活ではたくさん楽しいことがあり、本当に良かったと思っています。

日本に来た１日目、組合で一緒に勉強した人にインドネシア人がいました。みんなそれぞれ母語が違いますが、私たちの共通の言葉である日本語を使って話し合いました。日本語が少しできるからこそ話し合う際にたくさんの誤解がありました。日本で仕事をし、生活するうえで日本語はとても重要です。次の日、私たちはもっと頑張って日本語を勉強しました。誤解を減らして仲良く付き合います。

会社での第一印象は日本人社員が非常にまじめだということです。仕事のとき、社長をはじめ周りの日本人はいつも優しく丁寧に教えてくれました。日本語があまり上手ではないので正確に相手の話を理解することができません。仕事を間違えてしまい、それから私は毎日朝早く起きて夜遅くまで日本語を勉強しました。分からないことがあるとき、会社の日本人は親切に教えてくれました。コツコツ努力した結果が実り、本当に良かったと思っています。

去年の12月14日、私は第５回日本語スピーチコンテストに参加しました。社長をはじめ専務、部長、課長が応援に駆け付けてくれました。私は大きな自信を持って１番目に発表しましたが、受賞はできませんでした。自分の高慢と自信は一瞬でなくなりました。コンテストに参加する前のことを思い出しました。社長は私が大勢の前で演説するときに緊張するだろうと心配して、会社の社員の前で練習させてくださいました。部長はよく休みの時間を利用して発音を教えてくれました。私も一生懸命に練習しました。私に対する会社の人の期待は大きいと思いました。ぜひ優れた成績を収めて期待に応えようと思いました。しかし、その必死の努力の甲斐もなく、失敗しました。私は「受賞できませんでした。みんなを失望させました。本当にすみませんでした。」と言いました。みんなは笑っていました。社長は「みんなの援助は受賞させたいわけではありません。あなたが日本語の勉強を頑張っているのを支持して応援したのです。あなたの努力が私たちはとてもうれしかったのです。」と言いました。私はずっとみんなの援助は受賞のためにあると誤解していました。

このスピーチコンテストでは優れた成績を収められなかったものの、見聞を広めて経験を積み重ねることができました。私は「努力して結果がでると自信になる。努力せず結果がでると傲りになる。努力せず結果もでないと後悔が残る。努力して結果がでないとしても経験が残る。」と思います。

私の夢は社長のように日本の技術を中国でいかし、中日の友好のために力を尽くすことです。日本での残りの２年間、私は努力し続けます。私は「努力すれば夢は叶う」と信じています。

国　　籍	中国
職　　種	機械加工
実習実施機関	株式会社ミズノマシナリー
監理団体	富瀋国際事業協同組合

優良賞

お弁当

杨　　洋
YANG YANG

日本に来て２年が経ちました。最近、友達と親戚からきれいになったねと言われました。理由を聞かれて、私の答えはいい食事の方法を覚えたからです。良い食事は私の胃袋を満足させ、健康な体を作ってくれると同時に、私の生活と仕事も豊かにしてくれました。

私は、日本に来たばかりの時、一番困った事は食事でした。出勤日のお弁当は本当に困りました。最初の頃、作る時間を短縮する為に、一つの弁当箱にご飯とおかずを無造作に入れました。すると昼ご飯の時､全てが混ぜてしまった､食欲もなくなりました。ある日私はお弁当を忘れて、工場で注文しなければならないことになりました。そして、初めて食べた日本のお弁当に大満足でした。味が美味しくて、食材の種類が豊富で、入れ方もきれいでした。あれから、私のお弁当の研究が始まりました。

私はよくスーパーやコンビニへお弁当の形と種類を見に行きました。しかし実際に自分で作ってみると、出来は想像と大きく違って、うまく作れませんでした。諦めようとした時に、同僚との雑談が私の考えを変えてくれました。彼女は五人の子供の母親で､毎日五時に起きて、夫と子供達の為にお弁当を作ります。私はこれにびっくりして、彼女に毎日大変なのに、何故外で頼まないのと聞きました。彼女は笑いながら、大変じゃないよと言って、理由をこう説明してくれました。空っぽになった弁当箱を見る度に、自分は莫大な達成感を味わえます。そして、家庭のみんながわくわくしてお弁当を開けて、自分が用意したサプライズを見る時の笑顔を想像したら、お弁当作りは、ただ一種の家庭責任ではなく、一種の楽しみでもあります。彼女の話は、私に衝撃を与えてくれました。お弁当は人を満腹させる物だけでなく、一家の幸福にも繋がっていることを知りました。

お弁当文化に触れってから、私は自分の食事の栄養バランスを改善するようになりました。自分が作ったものを他人に食べさせて、美味しいと言われる時、心は言葉で表現できない喜びに満ち溢れます。お弁当文化からは、日本人の生活にも深く浸透でき、日本人の協力精神や仕事に対する勤勉さを感じられました。私も、生活の中だけではなく、このような気持ちを仕事に持って行きたいです。だからこそ、相手の幸せを思い料理一つ一つを丁寧に味付けし盛り付けする日本のお弁当作りのように毎日仕事において作業一つ一つを丁寧に行いお客様の満足を強く渇望し､真心を感じて頂きたいです。また、その成果を他人と一緒に味わいたいです。直接会えないですが、製品を通じて、社会の融和を深めていきたいです。

お弁当は生活の不可欠な一部になりました。私は一刻も早くこの体験を中国に持ち帰りたいです。もっと多くの中国に、日本のお弁当文化が健康の需要だけでなく、心と心の大切な交流でもあることを伝えたいです！

国　　籍　中国
職　　種　電子機器組立て
実習実施機関　株式会社ミックコントラクトサービス
監 理 団 体　エコノ協同組合

優良賞

急がば回れ！

陈　　欣　静
CHEN XIN JING

「急がば回れ」という言葉の御陰で、私の仕事に対する態度が大きく変わりました。

私の仕事は掌サイズ火災警報器の組立です。印字された文字を確認して組立てて、説明書を添えて箱に入れる作業です。毎日何百何千と生産されています。今日もいつもと同じように生産を始めます。今日の製品はより簡単で新人の私達三人、三十分で百個も作りました。何事にも速度が実力を決めると思っていた私は、始めからずっと、どうしたらHバー（一時間の生産量を表す数値）が上がるかを考えていました。今日の速さで絶対高いHバーを出して、いつも私の粗探しをするリーダーさんに見直してもらえるチャンスだと思いました。私は速度を上げるために印字をしっかり確認せず、部品の方向が逆になっているのも気づきませんでした。Hバーは予想通り上がり、気分も上々です。しかし、生産後の抜取り検査で不良が発見されました。

リーダーさんに不良発生の原因を聞かれました。不良が出たら作った製品は全て検品されます。全部で七個も不良が発見されました。不安になって、どう答えていいか分からない私達は黙って立ち竦みました。厳しい顔になったリーダーさんが言いました。「不良の原因は印字を確認しない事です。確認はとても重要な一部です。確認せずに出してしまった不良を、手にしたお客様はきっとクレームを言います。これは会社にとって大きな影響を及ぼしかねません。作業標準に基づいて作業をするのが一番大事です。簡単に出来るからといって油断するのは絶対にだめ！今スピードとか言うのはまだ早いです。誰でも一瞬にして上達する事はありません。急がば回れ。無駄な生産にならないように、一歩一歩着実に進めていくのが肝心です。」この話を聞いてはっとしました。顔が真っ赤になって、素直に謝りました。

最初から、中国人にとって、どの製品も毎日毎日大量生産して､大した問題もなかったので、抜取り検査自体も必要ないものだろうと思っていました。「部品の挿入に異常はない？」「印字を確認した？」なんて言葉も、何度もリーダーさんに言われてきて、ただうるさいとしか思っていませんでした。もし、この抜取り検査がなかったら…。そしてリーダーさんが口をすっぱくして毎日言ってくれた言葉も、私のためを思って注意してくれたのに、速さだけ考えて、些細な所を疎にしても大丈夫と思いながら、勝手な作業をする自分にうぬぼれていました。

ふと思い出す今も恥ずかしいです。あれから、仕事も勉強も着実に一歩ずつ頑張り、日本語能力試験一級に合格する事も出来ました。ありがとう！私のリーダーさん。これからも「急がば回れ」を人生の信条として心に刻んで、紀南電工の皆様と一緒に頑張って良い品質の製品を作りたいです。

国　　籍　中国
職　　種　電子機器組立て
実習実施機関　紀南電工株式会社
監 理 団 体　ＥＬＣ事業協同組合

優良賞

日本に来て、初めてしたこと。

ルオン　ティ　ヴー　マイ
LUONG　THI　VU　MAI

私は二年前の４月にベトナムから福岡に来て、機械加工の仕事をしています。私達は会社で初めてのベトナム人でした。最初の一年で、たくさん初めての経験をしました。

日本に着いた時は桜の季節でした。買い物に行くスーパーまでの道は長い桜並木があって、本当にきれいでした。ベトナムのテレビや写真で見た桜はいつも満開でしたが、初めて見た本物の桜は、咲いている時間が短くて、すぐに散ってしまいました。散って落ちた桜も魅力があります。風が吹くたびに花びらが舞って、雪のように見えました。

５月には博多どんたくのお祭りを見ました。日本に来る前に日本の文化を勉強して、日本文化は静かで派出じゃないものばかりだと思っていました。でも、お祭りは大人も子供も、色々な衣しょうで踊って、面白くて、ウキウキしました。皆はおそろいの浴衣を着て、色鮮やかで、とても美しいと感じました。

９月は会社の慰安旅行がありました。秋の涼しい風が吹いて、旅行にぴったりの季節です。慰安旅行は会社の皆が楽しく親睦を深めるための旅行です。バスに乗って、観光して、旅館に泊まりました。初めて浴衣を着て、畳の部屋で寝て、初めて温泉にも入りました。私は「皆で一緒に裸で大きいお風呂に入るのは恥ずかしくて可笑しいな」と思いましたが、会社の人は「大丈夫よ！恥ずかしくないから入ってみて、気持ち良いよ！」と言いました。恥ずかしいけど、温泉がどんな感じか知りたくて、入ってみました。たくさん歩いて疲れた足が、ゆっくり温まって、本当に気持ち良くて、体が軽くなったように感じました。皆でお風呂の中でたくさん話して、会社の人に日本の色々なことを教えて貰いました。日本では食事やスポーツだけじゃなくて、お風呂でも親睦を深めることができると思いました。

秋が過ぎて初めて日本の冬がきました。初めて雪を見ました。きれいで楽しくて、雪が降るのは好きですが、ベトナムの冬は寒くても６℃くらいなので、体験したことのない寒さを感じて、怖いと思いました。

新しい年になると、初めて２つのお正月を迎えました。一つ目は一月の日本のお正月です。ベトナムのお正月は皆で歌を聞いたり、外に出かけて遊んだり、とても賑やかですが、日本では外に出かける人が少なくて静かです。家を掃除して、除夜の鐘を聞いて、お節やおそばを食べて静かに迎えます。二つ目は２月のベトナムの「テト」というお正月です。毎年賑やかですから、初めて家族のいないお正月を迎えて、とても寂しく感じました。

今、日本へ来て３回目の春です。私は10人の実習生の先輩になりました。後輩が困らないように、生活や仕事の正しいやり方を教えてあげたいです。来年の４月には初めて会社を卒業してベトナムへ帰る実習生になります。ベトナムへ帰ったら、これから実習生になりたい人に、私が日本で体験したことを話して、「日本へ行きたい」と思って貰いたいです。

国　　籍	ベトナム
職　　種	機械加工
実習実施機関	シバタ精機株式会社
監 理 団 体	福岡素形材産業協同組合

優良賞

「すみません」と「ありがとう」の力

グエン　キム　ニュン
NGUYEN KIM NHUNG

私は日本に来てもう一年になりました。一年の中でいろいろなことを経験しました。それによって、私は大切なことを学びました。それは感謝と謝罪の気持そです。

ベトナム人にとって、感謝と謝罪の言葉はあまり口にしません。重大なことなら「すみません」「ありがとう」を言います。ですから、初め会社に入ったとき、私はちょっと慣れませんでした。会社の人に、よく「ありがとう」と「ごめんなさい」を言われましたから。そのとき私が些細なことであれば、そんなに感謝と謝罪を言う必要はないと思っていました。でも毎日、日本人といっしょに働いていると感謝と謝罪の気持そを言うことが習慣になりました。ほかの人に「ありがとう」と言われば、とても嬉しいです。

でもいっしょに働いているベトナム人に感謝と謝罪の気持そを言うのはまだ妙な感じがします。そんな時、あまり望ましくないことがありました。以前、私はいっしょに住んでいる人と仲良くありませんでした。お各いの性格も違うし、考え方も違うので、時々けんかもしました。けんかするとき、だれでも「私は間違っていない」と思ってしまうので、だれも謝罪などはしたくないと思うものです。となると、同じ部屋に住み、そして、会社で同じ工程で働いているので自然てその相手と話をしない状態が続きます。とは言え、私は「何に話なんかしなくても大丈夫だろう」と思いました。しかし、ある時、私が病気をとき、その考えが変わりました。そのとき、彼女が私の看病をしてくれたのです。私はとても感動しました。その時気づいたのですが、やっぱり三年間ずっとーで生活するのはとても大変です。楽しいこと、悲しいことがあった時だれかと話したら、生活はもっと楽しくなると思います。それに、困ったとき、すぐに手伝ってくれる人はいっしょに住んでいる人だと思いました。なので、細かいことでけんかしたことを後悔しました。日本人のようにすぐに感謝と謝罪の言葉を言うことができれば、もっとお各いの関係がよくなると思いました。今さらですが、私は彼女に「ありがとうございます。前のことはすみませんでした。」と言いました。そして今、二人は親友となりました。生活も楽しくなっています。私が日本にいる間、いっしょに住む人と仲良できない場合もたくさんあると思います。でも、日本人のように、「ありがとう」と「すみません」を言ってみれば、きっと楽しみが増えるはずです。そんな簡単な言葉をもっと使っていきたいです。楽しい生活が待っているはずですから。

国　　籍	ベトナム
職　　種	内装仕上げ施工
実習実施機関	株式会社川島セルコンソーイング
監 理 団 体	関西経友会事業協同組合

優良賞

日本をささえるしょくにんから学んだこと

カウソ ジョエル デラ クルーズ
CAUSO JOEL DELA CRUZ

日本では内装仕上げの仕事を学んでいます。この仕事はかんたんではなく、ぎじゅつ、こうどう、たいどが問われます。

まずはコミュニケーションにくろうしました。はじめ、分からないことをきくとしかられる、と思い、いみがわからなくても、「はい！わかりました」とこたえていました。しかしそれは大きいなまちがいでした。

げんばで「道具をちゅうしやじょうにとりに行って」といわれ、まちがった道具をもってきたとき「わからない時はわからないと言え！」としかられました。分からないとみとめないと、よいしょくにんになれないと言われました。分かったふりをすると必ず失敗し、時間と材料がむだになり、自分はなにもおぼえません。このとき日本ごのべんきょうが大事だと思い、じしょとノートをげんばにもっていくようにしました。道具のなまえや仕事で使うことばをきいたり、やすみじかんはなるべく日本ごで話すようにしました。

気がついたら、しかられることが少なくなり、仕事もはやくなりました。せんぱいにジョークを言えるようになり、げんばがたのしくなりました。コミュニケーションができると、フィリピン人と日本人、というかべがやぶれ、りかいしあって同じゴールにむかってたのしく仕事ができるとおもいました。

よい仕事についてもまなびました。パテでユニフォームがよごれていると、せんぱいにおこられました。仕事でふくがよごれるのはあたりまえで、がんばったしょうこだと思いましたが、せんぱいにちがうと言われました。

「仕事のけっかだけでなく、きているふくでも、しょくにんのうでがわかる」。おきゃくさまにきたないふくを見られると仕事もきたないと思われます。日本のしょくにんは、さいこうのけっかをだすために、こまかいところまで気をつけるとわかりました。

まえは、日本は天国のようだとおもっていました。しかしじつは、日本のビルやこうきゅうな車や、まほうのようなぎじゅつなどはわたしが見たせんぱいのような、まじめな国民がささえていることを知りました。これを目にして仕事へのかんがえが、かわりました。仕事でつかれていても、日がしずむ時には「自分には学んだものがある」と、まんぞくし、あすへのきぼうをもつようになりました。今もおしえられたことをがんばっています。国にかえったら、日本のしょくにんさんのように、国をささえる人になりたいです。たいけんしたことや学んだことを広げ、他の人のきぼうの元になれれば、と思っています。

国　　籍	フィリピン
職　　種	内装仕上げ施工
実習実施機関	株式会社秋山内装
監 理 団 体	協同組合中遠海外技術研修センター

優良賞

食堂での思い出

兀　　涵
WU HAN

私が日本へ来てもう２年半過ぎようとしています。今まで楽しい思い出はもちろん一杯です。技能実習生としてヤマテック株式会社で研修する事は本当に幸せな事だと思います、皆さんからいつも家族のような暖かさと元気をいただいて心から感謝しています。

私が一番ヤマテックで好きな場所は食堂です、それは初めて皆さんに会った場所、そして皆さんと会う最後の場所だからです。食堂は私にとって食事する場所だけではなくてすみずみに楽しい思い出が溢れている場所なのです。食堂の壁には帰国した先輩たちの近況報告がずっと更新されています。先輩から連絡があり次第食堂に近況が掲載されます。また、先輩たちが結婚した写真や生まれた赤ちゃんの写真や皆さんに送ってくださったメールや手紙、帰国する見送りの写真、一緒に富士山に登った写真等、いろいろな写真はきれいに壁に貼ってあります。毎日、お昼休みにその写真を見るのは私の習慣になりました。何度見ても見飽きません。

そして、食堂は私の気持ちが落ち着く場所でもあるのです。一年目、私には困難なことが一杯ありました。日本の習慣もほとんど知りません、日本語もあまり分かりません、言いたいことを上手く表現できないもどかしさで私は毎日不安な気持ちになりました、言葉がだんだん少なくなり、笑顔もなくなりました、でも食堂に帰国した先輩が中国へ帰って幸せに過ごしている写真を見ると「私の未来と家族の幸せのために頑張ろう！」と前向きな気持ちになり、不安な気持ちも無くなり、笑顔が戻りました。

時間が経つのは早いです、三年間の技能実習生の生活は残り半年となりました、初めて日本へ来てヤマテックへ来た時から今までの出来事を思い出すとまるで夢のよう　です。

一番感謝したいのは私にとって大切な食堂です、悲しい時、家族に会いたい時、食堂の写真は私を励ましてくれました。きっとこれからも私を笑顔にしてくれるでしょう！帰国後は私が後輩を笑顔にする番です。

国　　籍	中国
職　　種	電子機器組立て
実習実施機関	ヤマテック株式会社
監 理 団 体	関西経友会事業協同組合

優良賞

日本に来たわけ

陸　　国　超
LU GUO CHAO

私が日本に来てもう１年になります。今の私は、日本に来たばかりの頃の興奮や新鮮な気持ちはありません。あるのは毎日コピーされたような仕事と変化のない生活の日々と、勉強に対する嫌悪感。日本に来たのを後悔するようになりました。このような生活では自分の存在価値が見出せなくなったからです。自分に聞いてみます。なぜ日本に来たの？毎日同じ仕事をして何の意味があるの？将来の自分の姿が見えなくなり、どうしていいかわからなくなりました。

そんなとき、ふと目に付いた文章がありました。それは、世の中に対して功績を残した人に与えられる。賞に関する記事です。数多くの会社の秀才が生涯努力して目指す賞です。しかしこの年、この賞は、一人の普通の郵便局員に渡されました。彼が郵便局員生活30年間に配達した、数えきれないほどの郵便物はひとつの間違いもなく配達されました。何の力が彼に３０年ものあいだ同じ仕事を繰り返しができにのでしょうか?インタビューを受けた彼はこう答えました。「この仕事は、本当はつまらないつらい仕事です。この仕事が嫌になったこともあります。しかし郵便物をお客さんの手に渡すたびにその喜びや笑顔を見ることができます。僕の仕事にも大事な意味があるんじゃないか？と思いました。お客さんの笑顔のために、毎日が初心だと思い、日々の仕事をまじめに続ける原動力となりました。」

この記事を読んで私は何のために日本に来たのだろう。日本に来る前の面接のときに自分が答えたことを思い出します。「日本で仕事をがんばって、自分の存在価値を見出したい。日本の電子技術を身につけて、帰国後その技術を活かして働きたい。」と言う思いがあったのに。今まで、自分は何をしてきただろう？毎日の生活に不満を抱き、仕事に不真面目で無責任な態度でした。しかし、ふと、自分が毎日使っているドライヤーをみると、なんと自分が作った会社のものでした。家の中をよく見てみると多くの機器が自分の会社のものでした。うれしくなりました。つまらなかった仕事も意味が在るものになりました。もし私が作りだした商品に不良があったら、もしそれが私の使っている商品だったらどうする？もしそれが生命、財産、安全に関する商品だったらと思うと仕事の意義がわかってきました。自分の責任の大きさ。

私は残りの２年で私が作り出した商品を使用する人のために、笑顔を作り出してあげるために仕事をしようと思います。お客様の笑顔が、私が日本に来て得られる「成功したで賞」になるように。

国　　籍	中国
職　　種	電子機器組立て
実習実施機関	紀南電工株式会社
監 理 団 体	ＥＬＣ事業協同組合

優良賞

狭い道広い度量

高　　洋
GAO FENG

子供の時に、お父さんは私に物語を話してくれました。一番印象深い物語は、羊が２匹います。同時に丸木橋を通ります。しかも、同時に２匹の羊は、橋の真ん中に行きました。どちらも譲歩しません。はやく橋を渡りたいからです。結果は、２匹の羊とも河に落ちました。この物語を聞いたら、２匹の羊は本当に愚かだと思います。もし、１匹の羊が先に譲歩したら、何も問題は起きません。今の現実の社会には、この美徳を忘れたのではないかと思います。自分は、自分の利益だけを思います。日本に来た後、私はもう一回勉強しました。

私は、技能実習生として日本に来ました。初めて日本に来た時、この事を学びました。会社に着いた後、先輩にスーパーへ連れて行ってもらいました。日本の道は中国の道より狭いです。車が狭い道を進んでいます。その時、交差点の所で方向が違う二台の車が進んで来ます。思いがけなく、向こうからお姉さんの車が道の端に止めました。おばさんとお姉さんは互いにうなずいて微笑後、おばさんの車が進んで行きます。私はお姉さんの笑顔を見ました。その時、彼女はきっと嬉しかったと思います。車は車に譲る、人は人に譲る。私は日本に来てもうそろそろ１年半になりますが。日本では、この情景はその一回じゃないです。同じ情景がよく見られます。日本の道は狭いですが、人は広い心を持っています。そんな時の私は日本の道が広いと思います。

いつでも、私はこの事をずっと覚えています。この事はそれからの生活に、よい影響を及ぼしました。今の現実の社会に、自分の利益だけを考える人が多くいると思います。広い心を持って、一歩退きます。自分は偉い人だと思わないで？ただ、一歩退くという事は勇気がいります。広い道は、心ほど広くないです。この道理をもう一回理解しました。

人生の道はいろいろな出来事と出会います。広い心を持ったら、きっと笑っていられます。心も軽くなります。だから、一歩退いていたら、得る事は本当に多いです。人の友情を得て、人の優しさを得て、生活すれば、自分も楽しいでしょう！

国　　籍　中国
職　　種　プラスチック成形
実習実施機関　エーディーエンジニアリング有限会社
監 理 団 体　北陸対外事業協同組合

優良賞

働く者に貧乏なし｜働けば回る｜

ツェレンドルジ　ホロルマー
TSERENDORJ KHOROLMAA

人生というものは豊かです。私は生まれてから今まで、とても幸せな人生を歩んで来ました。そしてまた将来も幸せなものにしたいと思っています。そのために、自分なりの目標を持って、日本へ研修生としてやってきて２年が経ちました。

人生は、働かずして幸せになる事はないと思います。私は、自分の人生を豊かにするため、また母国の発展のために働いています。価値ある人生を送るため、朝から晩まで１日中働いています。私が働く事に対してこのような意識を持ったのは、ある人を尊敬しているからです。

私の故郷には、プルベーという女性がいます。彼女は牧場の管理をする仕事をしています。乳製品の販売で十分な収入があり、家や車など、必要なものは全て持っています。誰もが羨むような生活を送っていますが、このような暮らしが出来るようになるまで、彼女は大変な努力をしてきました。何年もの間、彼女は早寝早起きをして、懸命に家畜の世話をして、家族を養ってきたのです。そのおかげで丈夫な家畜が育ち、その家畜の乳から作られる新鮮で上質な乳製品は人気商品です。

プルベーの働きは国にも認められ、名誉ある賞を受賞しました。彼女を知っている人たちからは「働き者のお手本」として尊敬されています。私も彼女を見習って、自分の生活のため、国の発展のために一生懸命働いています。そうすれば、彼女のように豊かな人生を送ることができると信じています。

私は大学生の頃、サービス業のアルバイトをしていました。お客様の「ありがとう」の一言は私にやりがいを感じさせてくれました。今、私は日本の工場でネジを検査する仕事をしています。大変な仕事だけど、辛いとは思いません。このネジは自動車に組みつけられて、たくさんのお客様を喜ばせる事が出来るからです。人の命に関わる仕事なので、しっかりと検査をする事は私の義務だと思います。そうしていたら、ネジ一つ一つがお客様のような気がして、毎日「検査してほしい」と言いながら笑顔で待っているように思えます。以前は、事を運転していても車の部品のことやその部品を作っている人のことなど考えた事がありませんでした。たった１本のネジを作るのに、大勢の人が関わっています。私もそのネジメーカーの一員として働いていることを誇りに思います。

日本が先進国になったのは、日本人が真面目に努力してきたからだということを日本へきて感じました。どの国でも、国民の力によって発展します。日本で働いたり勉強したりしているのは、将来母国であるモンゴルの発展に貢献できるチャンスだと思います。私は帰国したら、自分のやりたい事をたくさんして。幸せな将来を送る事が出来る様、「働けば回る」を守っていきたいと思います。

国　　籍	モンゴル
職　　種	機械検査
実習実施機関	藤田螺子工業株式会社
監 理 団 体	椿インタワークス協同組合

優良賞

箸から教訓

ヴー　ティ　ズエン
VU　THI　DUYEN

日本に来てからもう二年になりました。後一年間しか残っていませんので時間が経つのは早いと思います。二年前にベトナムで日本に行くという夢を実現させたいと考えました。三年間の日本での実習期間で日本語や技術、日本人の働き方を勉強しようと決意しました。もう二年経って、まだこの希望は全部かなえられていません。しかし、この二年間で日本で色々な事を教えていただきました。その中で私に最も影響力のあった教訓が一つありました。それは箸から学んだ教訓です。

私達は会社の寮で住んでいます。毎年、社長が二回、ベトナムで実習生を面接して、八人を採用しています。ですから、実習生がどんどん増えて来て、今は、二十人になりました。最初は何も問題ありませんでしたが、最近になっていくつかの問題が発生して、人が多くなるとともに生活も複雑になってきました。そして、あらそいが避けようにも避けられない問題になりました。みんなで仲良く出来ないと生活と仕事も大変で、みんな気が詰まった雰囲気で暮らすようになりました。私はそんな状況を嫌だと思い、がっかりしていました。それで管理者のミさんと話して、解決法を聞きたいと伝えました。管理者のミさんは私の話を聞いてから、すぐに答えてはくれず、実習生を全員呼び出しました。全員で集まってから、まず私に箸を一本渡して、折ってくださいと言われました。ミさんの考えが分かりませんでしたが指示のとおりに折って箸の形が半分になりました。次に、箸を十本もらって、また折ってみてと言われました。でも、今回はどんなに力をいれても折れませんでした。そして、後のミさんの説明にとてもおどろきました。ミさんは「人間でも箸と同じで、社会と集団で暮らす時一人だけではなくて、一緒に住んでいる人が大勢になります。特に性格というのは、人によって違いますからいつでも、どこでも自分の事だけ考えてはだめで、相手の気持ちを考えなければなりません。行動する前に一緒に相談すると結果が出ます。社会の中で集団を小さく分ければ絶対に負けやすくなりますから、団結する必要があります。皆がお互いに学ぶと一緒に成長することが出来ます。」と私たちに話してくれました。

ミさんのおかげで、今、私は人間関係はもろいものだと気づきました。ですから、人と付き合う時は相手の気持ちを考えています。そうしないと集団ががたがたになってしまうかもしれません。そのために今、みんなで仲良く出来るように気をつけています。生活もだんだん楽しくなりました。私は後一年、一所懸命仕事をします。それに、私の夢を実現させるために毎日、日本語を勉強したり、日本人の働き方を観察したりしています。実習期間が終わってから、ベトナムに帰国しても日本で学んだ事を忘れずに頑張って行きたいと思います。

国　　籍	ベトナム
職　　種	食鳥処理加工
実習実施機関	株式会社エヌチキン
監 理 団 体	公益財団法人国際労務管理財団

優良賞

「気持ち」という教訓。

チャン　ヴァン　ユン
TRAN　VAN　DUNG

皆さん､「気持ち」という言葉をごぞんじですか？二年くらい日本で働いて、私はその言葉の意味を知った事で、強烈な印象に残っている事があります。それは「気持ちを込めて、仕事をする」という事です。

私の仕事は屋根の一部の換気棟という商品を組み立てる事です。主任から教わる通りに三年で全種類の換気棟の組み立て方さえ覚えたら、きっと問題がないと私信じました。

ところがある日、私は主任に呼ばれました。その時の話で主任の言った事は特に忘れられない事があります。それは「ユン君は何の為働くのか？ユン君の作ってる商品は気持ちが込められていないので、ミスがない商品なのに良い商品ではないよ。」と言われた事です。

主任の話しの後､色々な疑問が浮かびました。「なぜミスがない商品なのに良い商品ではないのか？」「気持ちがない。」という事はずっと頭の中に響きました。でも、考えてみたら、主任の話が理解できるようになってきました。なぜなら現在、私の家族の生活が苦しく、お金の事を悩んでばかりいたからです。会社で残業がないと、ずっと落ち込んでいて、悩みを抱えながら仕事をしていました。そのせいで周りの人に何度か「ユン君は怒っていますか？」と聞かれた事もります。

会社の方針は「快適な暮らしを守りたい。」という事で、心地よい住まいを創出する為に工夫を重ねて､すべてお客様の満足と笑顔の為です。私が作っている商品は夏は涼しく冬は暖かく快適に過ごす為に欠かせない物です。

家を建てる時欠かす事の出来ない大切な屋根の一部を作る仕事に誇りを持つ代わりに私はお金の悩みを抱えていつも怒ったような顔で仕事をしていました。仕事以外では一人でいて誰とも話をしたくありませんでした。ストレスを感じてつまらない時間を過ごしました。

私は沢山お金を稼ぐ事を考えてばかりで、いつの間にか心のゆとりを失くしてしまいました。主任に言って頂いた事は私の心を照らす光のように自分に役立つ大切な事を気づかせてくれました。そして「仕事をする。」という事が分かってきました。もし仕事に熱心を込めなければ、失敗しやすいばかりか、そういう事もお客様に伝わってしまうでしょう。良い商品とはミスがない商品だけでなく、心の込もった商品だという事も分かりました。

それはとても大切な事です。

気持ちは目には見えないが心で感じる事が出来ます。今、私の作っている商品はお客様が幸せを感じて下さると信じています。

これから、日本にいても、ベトナムへ帰っても時間を大切にして、勉強した事を生かしたいです。仕事に心を込める事を忘れずに夢を叶える為に頑張っていきたいと思っています。その夢は両親に家を建ててあげる事です。その家からは毎日、笑い声が聞こえてきて、温もりが溢れている家だと信じます。

日本に来るチャンスを頂いて、皆さんに会えて、心から感謝しております。

国　　籍	ベトナム
職　　種	金属プレス加工
実習実施機関	株式会社トーコー
監 理 団 体	産学連携事業協同組合

優良賞

白衣の天使

黄　　伟　民
HUANG WEI MIN

「白衣の天使」、どれだけの人が、小さいときの夢としたでしょう？先生が“大人になったら何になる？”と訊ねたことを覚えています。皆、異口同声に“お医者さんになりたい”と言いました。実は当時、私はなぜ医者になりたいか、よく判っていませんでした。ただ、テレビで長い白衣を着た人が皆に讃えられるのを見るにつけ、凄いと感じていました。この考えを持続けたまま成長しました。

２年前、青い海に囲まれた国“日本”に来ました。若者の勇気と好奇心を携えてこの土地に足を踏み入れました。異国でいろいろな経験、体験に遭遇しました。生活で意外なことにも遭遇しました。

幸運と言うべきか、不幸と言うべきか判りませんが、偶然、身体検査で異常で見つかり入院、治療が必要になりました。手術当日、手術室へのエレベーターの中での、あの数十秒・・なんと・・比べ物がない程長い時間に感じました。ある種の怖さと、緊張があったからです。エレベーターの“チーン”の音、ドアが開いた、その先に、まず目に入ったのは手術台ではなく、冷え冷えとさせる機械でもなく、いくつかの笑顔でした。ひとこと、ひとことが人を安心させる“がんばって”の言葉。手術台に横たわったその時、先生が訊ねました“怖いですか？”どう答えるべきか判らないでいると、先生が私の目を見ながら“大丈夫！目を閉じて、何も考えないで！私たちを信じて！”と話しました。周りの看護婦さんは、微笑みながら私に“がんばって”と言いました。麻酔が打たれ、どれだけの時間が経ったか判らないが、ぼんやりとした意識のなかで、だれかが私をよぶのを聞きました。私に“貴女の名前は？ここはどこ？”と訊ねました。私は無意識のうちに答えました。夕方になって、やっと麻酔から醒め、看護婦さんを見ました。彼女は微笑みながら訊ねました。“どうですか？どこか具合の悪いところは？”私は温かさを感じ、一人ぼっちではないと思いました。一晩中私のために、体温を測り、氷枕を換える、実はこの苦労は私にはよく判ります。私にも夜勤があります。でも、私には、彼女達のように、細やかなにやることはできません。更に驚かされたのは彼女達は、どの患者さんにも辛抱強く、気配りすることです。お年寄りが廊下を行ったり来たりして鍛錬するのを助けるのは勿論、毎回我慢強く、お年寄りに食事をさせる。動けない患者さんを繰り返した体を拭く、これらは私に、彼女達の仕事に対する態度とエネルギーの源泉はなに？という疑問を抱かせます。

私は、この精神は国境はなく、責任は医者の基本であるべきだと思います。しかし、広々とした愛は個人が付け加えるものです。ですから、私に支えがないとき、平凡だけど偉大な白衣の天使が私にくれた力に感謝します。

私は影響を受けて、人に対して微笑みで接する、恩に感謝することを学び取りました。これはこの国で私が得た最大の精神面の財産です。

国　　籍	中国
職　　種	電子機器組立て
実習実施機関	ヤバシテクノ株式会社
監理団体	公益財団法人日中技能者交流センター

優良賞

仕事と勉強

姜　　林丽
JIANG LIN LI

実習生として日本来たのは２年前のことです。「外の世界に行けば必ず自分を鍛えられる」という単純な思いで家から出ました。しかし、この２年間は思った以上に大変でした

私は今勤めている会社にはたくさんの外国人が働いています。入社の時、日本語が分からない私は何でも職場の先輩に頼っていました。「先輩たちが帰国したら、私はどうやって周りの人とうまく付き合うのか」と悩み始めた時、トラブルが起こりました。同じ生産ラインで働いていたブラジル人にうまく日本語で仕事のことを伝えられなくて、口けんかになりました。その後、まだケンカのショックから立ち直らないうち､もう一つの打撃を受けました。ある日、上司が私に「機械の周りを掃除しといて」と指示しました。私は話しの意味が分からなくて反応できませんでした。私は｢何でこんな簡単な言葉も分からなかったの｣と何度も自問しました。その時、日本語が自分の仕事にとって如何に大切なのかということを認識できるようになり、毎日勉強するように計画を立てました。在宅の時はもちろん､仕事の休憩時間も利用して、一つの単語でも覚えられるように工夫しました。努力した結果、私は昨年の日本語能力試験Ｎ２レベルに合格した。資格を持つようになって、当然嬉しいと思うが、もっと良かったと思うのは、２年間勉強を続ける中、勉強の面白さが分かるようになったことです。今はＮ１の合格を目指して取り込んでいます。

今の私は周りの日本人と簡単な交流ができ、職場では職制の指示に従って、正しく行動することができます。周りのブラジル人作業者と日本語を使いながら仲良く仕事をしていて、簡単なポルトガル語も教えてもらいました。以前職場でおきた問題はすべて解決できました。これは勉強のお陰だと思います。

仕事と勉強の関係について少し考えるようになりました。勉強と仕事は同じ重要なことで、勉強ができない人が仕事もうまくできないと思います。仕事を通じて､技術､手順､様々なルール、マナー、人間関係などいろいろなことを学ぶことができます。勉強の時は、仕事する時のように真面目に取り込まなければならなりません。仕事は勉強で、勉強は仕事だということに気づきました。

ただし、仕事と勉強はどちらでも大変なことだと思います。私たちのような外国人は日本で生きていく場合はなお更です。でも、大変だからこそ自分にとって意味があります。その大変さを知った私は幸運です。２年間の実習生活を通じて、仕事と勉強が両立できるようになりました。今は毎日充実している実習生活を送っています。

この先にどんな困難に直面するかが分からないが､日本で積んできた体験と知識を生かして、いろいろな挑戦をしてみたいと思います。仕事と勉強は一生に続けられることが、最も幸せなことかもしれません。

国　　籍	中国
職　　種	仕上げ
実習実施機関	シロキ工業株式会社
監 理 団 体	Ｊプロネット協同組合

優良賞

料理の力を、信じている

毛　　蓓蓓
MAO BEI BEI

ある日、偶然にＮＨＫのテレビプログラムでこのようなドキュメントを見ました。ある普遍な家庭の主婦が高級なるレストランでもなく、有名な店でもなく、ただ自分のうちの台所で、四千種類以上、人々に知られているメニューを作りました。

彼女は世界の主婦と呼ばれている栗原晴美さんです。料理専門出身ではないのに、彼女はどうやってこんなすごいことができたのかなって、最初は驚きました。でも、番組を通して、ようやく彼女が成功した理由がわかりました。

それは、彼女は料理の力を信じているから、美味しくて、素晴らしい料理を作ることができるのです。

私が初めて日本へ来て、会社へ行った時のことを思い出しました。会社へ行く前に、研修センターで食べた料理は全部食堂のおばさんが作ってくれましたから、そのプレッシャーも感じませんでした。しかし、会社へ行くようになって、自分でご飯を作らなければならなくなりました。その時私は慌てました。食事前の食材準備とか、食事後の整理とか、一番大事なのはやっぱり料理の味でした。家で料理を作る親の辛さもよくわかりました。

不真面目な態度で作った料理は少しも美味しくありません。スーパーで買った弁当をいっぱい食べた後は食べたくなくなりました。どうすれば美味しい料理が作れるのか、私は考え始めました。失敗を重ねた後一つ大事なことに気づきました。それは新鮮な食材は大事ですけど、心を込めて料理を作ることのほうがもっと重要です。国内にいた頃のことを思い出しました。両親はいつも心を込めて私の為にご飯を作ってくれました。料理が美味しく食べられることはきっと親からの愛を感じたからだと思います。

料理を失敗した時、いつも諦めろ「これ以上無理だ、もうやめましょう」ってこういう考えが頭からわいてきます。でも、おいしい料理を食べるために、もっと頑張らなければならないと思います。料理を成功して、友達が「おいしい」と褒めてくれる時、本当にうれしいです。一人寂しくて両親に会いたくなる時、料理は人を強くします。

食材の自己ぎせいは私達に美味を持ってきました。食材までこんなえらいことができるのに、一人の人間として、生活にほんの少しの挫折と出会っても、勇気を出して、挫折に向き合うべきだと思います。

調味料をいくら入れたら、最高の味が作られるのかなって、何度も何度も考えます。栗原さんはそれを美味しく作るために、火の強さや調味料の量や、作る時間などいろいろなことを要求しています。私から見れば、それは全部すごく面倒なことですけど、今は私の趣味になりました。

これからの人生の中に、料理を作る時と同じような気持ちを抱いていれば､何をしても､きっとうまくいくと思います。

国　　籍　中国
職　　種　電子機器組立て
実習実施機関　株式会社エヌビーシー
監 理 団 体　公益財団法人日中技能者交流センター

優良賞

畜産の環境

リアン　アディ　ヌグロホ
RIAN　ADI　NUGROHO

昔、ニュースで日本について、技術や便利な交通や高いビルなど、いつも出て来ました。それを見る時いつかもっと大人になったら日本へ研修しに行きたいと思いました。しかし日本に来てもう一年間たって、その日本の姿がまだ分かりません。やはり畜産の研修生として研修している地域は田舎若しくは町はずれなのです。問題もあって糞の匂いがすることです。ここでは毎日仕事後にできることがマネジャーさんと交換日記を書いたり友人と喋るのみです。何もなくてどこも行けません。買い物だって、マネジャーさんが連れて行ってくれないと行けません。ある日、なぜかマネジャーさんが交換日記に「ここにたくさんの喜びがあるよ、静かで自然の環境とか、珍しい動物とか、たから頑張りなさい「と書いて下さいました。きっと仕事中私の顔が何か心配しているように見えたのだと思います。それを家までずっと考えてしまいました。ある休日の朝、起きると、鳥のきれいな声が聞こえました。探してみるとびっくりで孔雀を見つけました。「まさかこんな所にこいつがいたのか」と思いました。インドネシアの鳥では、この種類を簡単に見付けられませんのでとても珍しいことです。それで暇たと家の近くに孔雀を探しながら散歩していました。町はずれに珍しい動物が見付かるし日の出や夕日も感銘を与えます。現在、他の農場で研修しています。今の地域は前と比べて仕事する時に殆ど機械でとても便利で早く終了します。しかし一つ私を面白くさせるのがあります。それは鶏糞の処理方法です。たしかに家畜糞は臭いですけどここで長く経過を通して臭くなくて良い肥料になります。作物の栽培時季にはたくさんの農家が肥料を買いに来ます。「どうしていっぱい生物肥料で施肥しますか？化学肥料であまりしませんか？」農家さんに聞いた時に「いっぱい化学肥料で使うと土に良くないのに加えて作物の味も美味しくないよ」と答えてくれました。急に田舎のことを思い出しました。家の回り飼育者がたくさんいますがその家畜糞の処理の仕方がちょっと良くなくて匂いがします。そこでいつか帰国日が来たら日本で学んでいる畜産学をインドネシアに適用したいと考えます。そうすれは、飼育者にも農家にも役立ちます。町はずれに研修している皆さんはたぶん私とそう思ったかもしれません。たまに中央町に研修している友達を知っていると羨み心があります。悲しい事もあります。それでも会社に来て仕事して皆とご飯を食べて喋べて、いつか悲しみを乗り越えられなかった時に皆さんはきっと今よりもっと強気になれます。私にも悲しい事がまだありますがもう真空ではないです。それに今自分の仕事にとても誇りを持っています。

国　　籍	インドネシア
職　　種	畜産農業
実習実施機関	有限会社八ヶ岳清里農場
監 理 団 体	公益社団法人日本・インドネシア経済協力事業協会

優良賞

勇敢 ― YOU CAN

余　俊
YU JUN

時間経つのは本当に早いです。知らずのうちに、日本に来てからもう半年過ぎました。最初は日本という国についてすこししか分かりませんが、今は日本語で自分の考えを話すことができるだけではなく、日本人との交流もできるようになりました。本当にうれしいです。この半年間、楽しい事も、苦しい事もたくさんありました。日本語を勉強すればするほど、日本の文化習慣について興味を持つようになりました。

私は会社で電子部品組み立ての仕事をしています。仕事中ドライバをよく使います。最初会社に来た時、自分が子供のようになにもできませんでした。特に、ドライバでビスを打つ時、よく間違ったり、入ってなかったり、失敗の連続でした。上司は隣でずっと見て、私はとても緊張でした。そんな簡単な事もできない、きっと私のことにがっかりしていました。そう思うと、ますます緊張になりました。汗がいっぱい出ました。

日本に来て、初出勤の日に初めて上司の前で失敗するのが思わなかった、くやしくて、泣きました。「大丈夫、英語の「勇敢」が知ってる？」「私は知りません。」紙で「YOU CAN」を書きました。「それは勇敢ではありません、YOU CAN でしょう。」っと、上司はにこにこしながら私の肩を叩いて、「あなたなら、できるよ。人は勇敢であれば YOU CAN である。それはただの駄じゃれではありません、魔法の力があるよ。」っと、上司はそう言いました。こんな話を聞いた時、私は嬉しくて、不思議全身でパワーをわいた。「はい、I CAN。」と返事しました。「上半身のちからを使って、手をまっすぐドライバを握って、ボタンを押す。」と、上司はもう一回教えました。それから何回も練習しました。「ああ、入れました、やっとできました。」と、確かに、上司の言うとおり、諦らめず、頑張る気持ちがあれば、いろいろな困難が乗り越えると分かりました。

私はこの言葉に励まされて、あの日から、この言葉が魔法のように私の力になりました。ずっと私を支えてくれました。この魔法ような言葉のおかげで、生活も、仕事も、いろいろなことが変わてると感じました。この言葉は私の人生の中で最もすばらしい財産になりました。

新しい困難が出て来るたびに、「YOU CAN」の言葉を思い出します。これから、十四期のリーダーとして、みんなと助け合い、共に前向きに進んで行こうと決めます。

努力を続ければ何でもできます。三年後、中国に帰る時、私が立派な姿に成長すると信じています。「YES、I CAN」。

国　　籍	中国
職　　種	電子機器組立て
実習実施機関	ミヤ電子株式会社
監 理 団 体	東日企業連携事業協同組合

佳作

日本と夢

レ ティ キム フゥオン
LE THI KIM PHUONG
ティー・アイ・シー協同組合／
周防電機株式会社

子供の時、私の趣味はマンガを読むことでした。勉強した後、いつもマンガを読んでいました。父は私の趣味を知っていたので、マンガを買ってくれました。それは「ちびまる子ちゃん」というマンガです。「それが縁ではないかな？」と思っています。今でもそれを大切に持っています。その時から、日本について学ぶことに興味を持っています。

それから「おしん」というドラマを見ました。日本の文化が面白くて、日本人が強固な意志を持っているのを感じていました。

それで、大学に入学して、日本言語・文化を専門として選びました。しかし、日本について勉強するのは教科書やインターネットで足りなくて、日本に行って、経験したいと思っていて、日本に行くことにしました。

昨年の夏に日本に来ました。今まで日本にほぼ10ヶ月間います。日本の事は大学で勉強したのに、実際は全然違います。分からないこともまだ沢山ありますが、大丈夫です。何か分からない時、皆さんがいつも手伝って、教えてくれますので、本当に感謝しています。

日本人は親しくて、熱心です。周りの人に手伝ってあげます。

仕事の時、日本人は真面目で、何をするにも実に注意深いです。間違えないように、何回も確認します。現在、周防電気株式会社で実習生として働いています。作業は配電盤･制御盤組み立てです。日本向けだけでなく、全ての海外向けの製品も慎重に加工されて、品質を確保しなければなりません。何をしても、自分で２回は確認して､さらに他人にチェックを頼みます。失敗する時、次回失敗しないように、原因と対策方法を考えなければなりません。その時、自分がなぜ失敗したか分かります。そうしたら、次回は間違えません。仕事の中で自分はいつも一番良い方法を考えています。仕事に限らず生活も沢山のことを勉強しました。

日本に来た後、最初の勉強した事はゴミの分別し方です。ゴミは種類によって区別し分けられます。ゴミは種類が沢山あります。それは資源ごみ、普通ごみ、小物金属、粗大ごみです。資源ごみはリサイクルできるごみです。リサイクルのおかげで資源を大切に使えます。日本人は急いでも、何をしても、いつも順番に並べています。日本の交通は安全で、便利です。ほとんどの人は公共交通機関を使っていますから、交通渋滞があまりないです。

日本に生活している際に、日本の文化と生活が良いことに気づきました。挨拶も良いです。人々は感謝することと謝ることを言うのを恥ずかしがりません。

私にとって、日本で経験していることは楽しいです。日本に来たのは夢じゃないです。今の目標は日本語能力試験Ｎ２に合格することです。この目標を叶えられるように頑張ります。私が気が入った教訓があります。「努力しない者に成功はない。」という教訓です。これからも教訓をもとに努力してまいります。

佳作

サービスの真髄

梁　　容　怡
LIANG RONG YI
一般社団法人国際友好ホテル協会／
株式会社八幡屋

日本に来てからの時間はあっという間に過ぎてしまいました。時間の流れが想像以上に早かったと思います。日本にいる間全てのことを文字で記録したいと思いましたが、いろんな気持ちをどう文章で表現できるのだろうか？

まずありがたかったことは、八幡屋に選んでいただいた事でした。八幡屋のおかげで、研修生にとして、この国に参りました。最初は日本について、全然知りませんでした。今、自分の国以外で日本は一番好きな国です。こちらの生活様式や環境が中国と全然違ったので、来たばかり時はちょっと慣れませんでした。しかし、時間が経つにつれて、どんどん大好きになりました。環境が静かで、人もやさしくて、大学の専問が日本語を選んで本当に良かったと思います。

最初の一ヶ月はフロントで働かせていただきました。日本に来たばかりだから、右も左も分かりません。なので、お客様に褒められたか怒られたかも分かりませんでした。しかし、一番重要なことは、お客様がホテルに来てから帰るまでずっと良い気持ちになれるように、奇麗な笑顔で接客する事を勉強しました。

楽しそうに笑ってる人を見ると、「いいなぁ」と、思います。たぶん、お客様もこう思ってるんだろう。とにかく、笑顔です。

その後、それぞれ調理場と接客係をやらせていただきました。元々料理を作ることが大好きだから、調理場にいた時間は本当に楽しかったです。素敵な盛り付け方を勉強しました。そのおかげで、日本料理はすばらしいと思うようになりました。使う材料の最も美味しい時期を選んで料理をすることが大切であり、また、食卓の料理によって、色、形、材質など考え、合うものを選びます。「日本料理は目でたべる」という言葉があるように、ただ味さえよければいいというのではなく、見て楽しむことも大切だと考えられています。調理場で仕事した２ヶ月間、日本料理のポイントを学びました。人生の新た目標ができて、将来すばらしい料理人になりたいと思うようになりました。それを目指にして頑張りたいと思います。

八幡屋の原点は「人の和」であり、「人づくり」を商いにしています。「おもてなしの心」が一番大切です。「お客様第一主義」という理念があります。また八幡屋に来たいと思ってもらえるように、お客様に一番良いサービスを、先読みしたおもてなしで、常に満足、時折、感動を提供したいと思います。

お客様がまた来るねと言ってもらえた時は、全ての努力は価値があると思っております。お客様が満足することを目指して、もっともっと良いサービスを勉強したいです。日本の良いサービスを学んで、中国に帰ったら中国のホテルに生かすことを目標として、これからも、「お客様第一主義」に向かって頑張って行きたいと思います。

佳作

私の家族と日本のお母さん

レ ティ ジェウ フオン
LE THI DIEU HUONG
公益財団法人国際労務管理財団／
株式会社シーサット

来日してもう２年になりました。あと１年で帰らなければなりません。でも、本当はまだ帰りたくありません。時間は早いです。私は皆さんと同じではありません。私の家族は大変です。私のお父さんは３年前に事故に遭いました。お金がたくさん必要になりました。借金が大きくなりました。私のお父さんは今、頭に障害があります。仕事はあまりできません。おまけに私の給料を送っても、自分のことに使ってしまいますから、いくら送っても「たりない。」と言います。今まで、借金がまだ大きいです。私のお母さんは元気がないですから仕事もあまりできません。私のお兄さんは子供の時怪我をしました。それで手が悪く、仕事も大変です。私の家族は大変です。だから、私は日本に来ました。でも､いつも家族のことを思っています。

日本の会社の人達はとても親切ですお年寄りも多いですが、仕事が上手です。70歳のお祖母さんもいます。私は１ばん好きな人を「お母さん」と読んでいます。私の日本のお母さんは仕事も上手です。私のこともよく分かってくれます。私は２２歳になって、はじめて日本のお母さんからケーキをもらいました。もらえたことにびっくりしました。そのとき、私は本当に感動して、気持ちを言葉で表すことなどできませんでした。あれ以来悲しいことがあったら、日本のお母さんに言います。そうすると、私の気持ちはよくなります。ときどき仕事が早く終わると､お母さんといっしょに買い物に行きます。買い物しながら話をします。買い物が終わったら、車の中で座って、アイスクリームを食べながら日本のことを話します。熱心に話しますから時間を忘れてしまうこともあります。帰るのは遅くなりますが、すごく楽しいです。

７か月前に私のお父さんはバイクを運転するとき事故に遭いました。足が折れてしまいました。ベトナムのお母さんも胃がひどく痛みます。お兄さんはまだ遠い所で働いていて、帰れませんでした。私は落ち込みました。もう、仕事もあきらめてしまおうかと思いました。ベトナムにすぐ帰りたかったです。そのとき、私は泣くばかりでいつもいつも家族の心配ばかりしていました。仕事のときも家族のことを考えていたので、集中できず、自分で手を切ってしまいました。仕事をしながら涙がでました。日本のお母さんがそんな私を見て、仕事が終わってから、またいっしょに買い物につれていってくれました。お母さんは「もし泣きたいなら、大きな声で泣いてください。」言いました。私は家族のことを話しました。お母さんは「いくら大変でも頑張らなくちゃ、あきらめないでください、一度泣いたら、もう悲しいことは終わりですよ。昔１回頑張ったら、今は10回頑張らなくちゃ。」と言いました。今、私は毎日、自分にいいきかせています「頑張らなくちゃ。」「頑張らなくちゃ。」今日まで頑張れるのは、日本のお母さんに話しを聞いてもらえたからです。

佳作

仕事をする前に大切な事

范　　东　梅
FAN DONG MEI
ＰＮＪ事業協同組合／
合資会社ピュアクリーン

私が来日してからすでに２年以上が経過しました。私が日本に来た理由は、家族と離れ離れになっても日本の高い縫製技術を身に付けたかったからです。習慣の違いで大変なこともたくさんあります。心が折れそうになった時もありました。でも、今は技術だけではなく他の大切なことも学べています。

入国してすぐに私は組合で講習を受けました。そこで私は生活上での規律や態度、授業に取り組む姿勢などを厳しく教わりました。最初の注意事項で先生から「ここでの生活は必ず時間を守ってください」と言われました。でも、慣れない生活で全然頭に入っていなかった私はすぐに失敗をしました。先生が指示した集合時間に僅か数分遅れたのです。私は先生を始め他の実習生達を待たせてしまいました。その時私は先生に「これから時間に遅れないでください。時間厳守！」と叱られました。でも、この失敗した経験が今の仕事や生活に活かされていると思っています。

組合での講習が終わり、私が会社に配属された時にまず驚いたのは、社員の方の仕事をする姿勢です。技術の高さはもちろんですが、毎日の仕事をする態度や真面目な姿勢は、私の今まで仕事をしてきた考え方を大きく変えることになりました。特に私の班長さんは、忙しい中でも先上げやサンプル作りという重要な仕事を任されています。高い技術を持つているので製品の仕上がりは正確でとてもきれいです。そして、班長さんの一番すごい点は、生産性を上げるために、どうしたら効率よく服が作れるかを自宅でいっも研究しているところです。そして、その成果をいっも私達に教えてくれます。この班長さんの見えない努力が、製品の納期を守ることにもつながっていると思います。

また、私が仕事中に他の実習生と話をしていた時「仕事と関係ない話はだめですよ。集中しないと効率が悪くなり品質が落ちてしまいますよ」と注意を受けたことがありました。品質や仕事の効率をいっも考えている班長さんに対して、以前は「ちょっと厳し過ぎるのでは？」と反発したこともありました。しかし、毎日班長さんと一緒に仕事をするうちに、いつの日か自分の考え方や姿勢が以前の私と比べて変わったことに気が付きました。全ての点で班長さんとの間に大きな差があると感じた私は、班長さんの仕事に向かう姿勢に少しでも近づきたいと思うようになりました。

日本に来る前は技術の勉強が一番重要だと思っていました。でも、その前にもっと重要なことがあることを私は知りました。それは仕事に向き合う姿勢、取り組む姿勢です。私は中国へ帰国した後、周りの人に日本で学んだ仕事への姿勢を少しでも伝えながら私の念願であるサンプル作りを担当したいと思っています。私はこの会社で仕事ができることに感謝しています。そして、帰国までに残された時間を今まで以上に大切にして、もっとたくさんのことを学びたいと思っています。

佳作

桜と私

臧　　春　彦
ZANG CHUN YAN
協同組合ビジネス２１／
トラヤ商事株式会社

私が、技能実習生として日本に来て、もうすぐ１年が経ちます。日本に来る前は、日本での生活を想像し、楽しみでしたが、初めて一人で飛行機に乗り到着した時は、心細くて不安になったことを、懐かしく思います。

私は工場で、婦人子供服製造の仕事をしています。日本の従業員の言葉を聞きとるのが難しく、思ったことがなかなか伝わらず、苦労しました。でも、社長さんをはじめ、従業員のみなさんは、優しくゆっくり根気強く私に教えてくれました。

しかし、仕事は厳しく、一着の服を作るまでに何度も縫製を確認します。仕事中は、みんな真剣な表情をしていて、お喋りをする人はいません。なぜここまで厳しいのか、理解できませんでしたが、これが日本の品質で、お客様に喜ばれる製品作りだということが、だんだん理解できるようになりました。毎日が勉強になります。

なれない生活も、中国人の先輩がいたので心強かったです。先輩には、日本での生活マナーや買い物の仕方、料理など色々と教えてもらいました。今では私が、後輩に教えることができるようになりました。

私は、写真をとるのが好きなので、日本で桜の写真をとるのを楽しみにしていました。今年の４月、はじめて桜を見ました。私が住んでいる彦根市には、彦根城があり、桜がたくさん咲き、とてもきれいでした。写真をとり、中国の家族に送りました。家族は、桜と笑顔の私の写真を見て、とても喜んでいました。

桜が咲く時期は、制服を作る仕事をしているのでとても忙しいですが、桜の中で制服を着ている人たちを見ると、私が縫製した制服があるかもしれないと、とても嬉しい気持ちになります。あと、２年間の実習生活。家族に会いたくて寂しいときもありますが、来年も同じように笑顔の写真を家族に送れるように研修を頑張りたいです。中国に帰ったら、桜と私の作った服を着た家族の写真をとりたいです。

佳作

「おはよう」がくれるぬくもり

斉　　婉　婷
QI WAN TING
ＥＬＣ事業協同組合／
紀南電工株式会社

「おはよう」という言葉は、私が初めて勉強した日本語で、もっとも印象深い日本語です。皆さんは日本に来てどんな気持で「おはよう」といっていますか？「おはよう」と言えていますか？

日本に来る前、中国で「おはよう」という言葉は、友達や同僚との間のごく普通な挨拶で、毎日このように挨拶することはありませんでした。ましてや知らない赤の他人に挨拶することはありません。今私が日本に来て120日が過ぎましたが、この120日で「おはよう」という言葉をきかない日はありません。

私の実習生活は、日本の三重県最南端、紀宝町です。どんなに寒くても雪が降ることはありません。降るのは雨ばかり。雨の日はあまり好きではありません。けれども、そんな雨の日に心を晴らしてくれる出来事がありました。

天気も暗く、小雨が降っている日。朝から気持ちも暗くなります。さっさと朝食を食べた後、カッパを着て自転車に乗り、会社へ行きます。その道の途中。ゴミボックスのすぐ近くで、片手で傘を差し、ゴミ袋を持って歩いている女性がいました。思いもよらなかったことに、私が彼女のそばを通り過ぎようとしたとき、ゴミを捨てようとした彼女が私に笑顔で「おはよう。」と声をかけてくれたのです。とても驚きました。一応挨拶のお返事をしました。私は逃げるかのように足を速めました。さっきの「おはよう」がまだ心に残っていて、変な感じです。それからまださほど進んでいないところで、正面に女の子が見えました。学生です。また、「おはようございます。」と挨拶をされました。まるで陽がさしたかのように心が温まりました。返事はせずに、微笑み返しました。そのとき、私の気持ちも明るくなりました。ついさっきまで朝からゆううつな気分だったのに、知らない人の「おはよう」という一言でここまで心が温まるなんて。不思議な気持ちです。

それ以来、私も習慣的に毎朝、「おはよう」と挨拶をするようになりました。知っている人であれ、知らない人であれ言います。「おはよう」と。毎回その返事を聞くたびに朝日のように心が温まります。繰り返していると、返事の挨拶も増えてきました。時がたつにつれて、とても簡単に聞こえる「おはよう」と言う言葉は、ただの礼儀とした挨拶だけでなく、心を込めて言えば、人の心にも朝日のようなぬくもりを与えられるということを学びました。皆さんも恥ずかしがらずに試してみてはいかがですか？

佳作

人生の新たな出発

李　　姍　姍
LI SHAN SHAN
グローバルアシスト協同組合／
プラスチック加工興和株式会社

私は前よりもっと日本がすきになった。日本人の生活習慣と仕事ぶりは感心せずにはいられない。日本に来る前にただ日本へ仕事をしに行ってお金を稼ぐための目標を抱えていると言うところだったけど、今は全然違う。日本に来てよかった。たくさんのものを得たと思います。

初めて日本に来てどこのトイレでもきれいだし毎日の空気もおいしいし、きれいな国だなあと感じました。だんだん日本がすきになってきた。自分の国もこんなきれいになったらいいなあと思います。日本人の環境を守る意識が高いのに気づきました。誰でも知っているのは、現代経済成長に伴い、公害汚染が深刻になってきたけど、先進国としての日本は、経済はすごく進んでいるのに、環境はものすごくきれいなのだ。それは絶対日本人がよく環境を守ったり、維持したりすることと分けられない成果だと思います。

この１年半の生活を過ごして日本人が生活であれ、仕事であれ、毎日５Ｓをちゃんと実施していると分かった。特に、ゴミをよく分類したあと出すこと、そう言うことは簡単に聞こえるけど、人々がよく守るようにすることは、どの国でも、できることじゃないと思います。

私の仕事は、プラスチック加工です。私は自分の仕事を誇りに思います。なぜかと言うと、仕事からいろいろいい勉強になったからだ。日本人の仕事中の真面目･情熱と責任感などに感心せずにはいられません。

製品を作ると言うより、生活を創造していると言ったほうがいいと思います。現場で仕事をする時、日本人の担当者たちは、いつも「仕事は人間性を表す」と言っている。そして皆も信じていて真面目にやっている。製品をばっちりできてこの製品を買った人に満足感を伝え、生活の便利さを与えられるのはうちの仕事の使命と価値だとおっしゃる人もいた。

ある日、私は　加工した製品の表面があまりきれいじゃなと思った担当者のそばで彼の仕事を見ていた。一度変えたプログラムでできた製品はずいぶんつやがでるようになったがまだ満足できなとと言わんばかりの顔をしている担当者は、そのあと、何度も変えて試した。そしてもっときれいにできると言いながらデータに取り組んでいた。もちろん、そのあと、できた製品は　確に申し分のないほどきれいなのだ。私の人生観はその時から変わってきたかなと思います。

日本の社会環境に影響されて昼間は仕事をして夜に日本語を勉強して理解した日本人の精神でこれからの１年半は続けて頑張るつもりです。帰国してから母国の後輩にそのすべてを伝えたいと思います。私の国の人々は日本人のように頑張れば、私の国も日本のようなきれいで強い国になれるかもしれない。

さあ、５Ｓを習慣づけ、日本から得たものを動力にして、人生の新たな出発を始めましょう！

佳作

日本で印象に残ったこと

ゲレルバドラフ　ビャンバセルジ
GERELBADRAKH BYAMBASERJ

椿インタワークス協同組合／
藤田螺子工業株式会社

桜の花が咲いて、風が吹いて気持ちが元気になる美しい春が来ました。時間が経つのは本当に早いです。日本語に「あっという間」という表現がありますが、本当にその通りです。ついこの間日本に来たような気がしますが、日本で生活し始めてもう１年が経ちました。愛する息子と病気の母をモンゴルに残してきたことは心残りでしたが、日が経つにつれてやはり日本へ来たことは良い選択だったと思いました。

私は今、藤田螺子工業という会社で働いています。私は今の仕事が大好きです。周りの人はいつもあかるく、私を支えてくれます。

昨年は私にとって良いことがたくさんありました。例えば、日本の歴史を感じる岐阜県高山市へ旅行に行ったこと、技能試験に合格した事などです。その中でも特に印象深かった事は、友人たちと一緒にネパールの子供たちを支援するボランティアに行ったことです。

私たちは皆でモンゴルの家庭料理やネパールのお土産を販売しました。その利益はネパールに新しい学校を建てるために使われます。「学ぶこと」をとても大切にしている７０歳の先生から、日本人の素晴らしさを学びました。

日本人は責任感があり、どこの国の人よりも努力しています。私は今、ネジの検査の仕事をしています。毎日、絶対ミスが無い様に心がけています。なぜなら、そのネジは将来、私の車にも使われるかもしれないからです。もし私が日本に来なければ、こんな風には考えなかったでしょう。将来の為に貯金をする事も、素晴らしい人々に出会う事も無かったでしょう。

私は、日本にいる３年間に達成したい目標に少しずつ近づいています。実習生としての生活は私に我慢することと様々な知識を与え、優しさ、友情の大切さというものの価値をわからせてくれました。

お金は必要ですが、それよりも日本で学んだ様々なことが私の人生を豊にしてくれるとおもいます。日本に、住めば住むほど良い国だと思います。日本は私にとって第二の母国です。大好きだよ、日本！

佳作

縫製

姜　　亜　萍
JIANG YA PING
福岡アパレル協同組合／
株式会社ミック

私は中国から来た技能実習生です。私は縫製工です。縫製業の仕事について6年になりました。最初から縫製の仕事が好きなわけではありません。正直縫製にはあまり興味を持っていなかったのです。しかし、仕事をしていくうちに縫製の仕事を好きになりました。

多くの人から見て縫製は地味で単純な手作業だと思われるかもしれません。縫製工になりたいと思う人も少ないでしょう。しかし、縫製工は欠かせない職業です。縫製は技術と正確さを求められる仕事です。簡単ではありません。

縫製工を始めた頃のことを覚えています。直線縫いすらできませんでした。先輩が縫いあげたものを見て「なんてすばらしい」といつも感心していました。ミシンの作業は縫製の仕事の一番重要な工程です。ミシンの仕事は複雑で精巧な工程です。長期にわたって練習しないと上手になれないと思います。また日本のやりかたは中国の工場と違うところがたくさんあります。来日したばかりの頃は、日本の作業のしかたに慣れなくて大変苦労しました。たとえば、中国の工場では座ってアイロンと糸きり作業をするのですが、日本では立ってしなければなりません。それから日本では細かいところまで追求されることが多いです。日本人と一緒に仕事するには、細かい気配りと我慢強い忍耐力が欠かせません。

縫製作業は基本的に二種類あります。一つは流れ作業です。流れ作業というのは十数人のグループに分けて一人一人の役割分担して一枚の洋服を完成させる作業です。例えば袖や袖ぐりを縫う人、ポケットを縫う人、襟を縫う人。それぞれ決められた作業を完成させるのです。もう一つは一枚の洋服を何から何まで一人で完成させる作業です。私が今働いている日本の工場は流れ作業です。流れ作業は特に細かいところまでの気配りが大切です。例えば、見返しは必ずはさみで切って修正します。

日本に来てよかったと思ったことはたくさんあります。私は仕事で分からないことがあっても焦らないことを覚えました。真っ先に人に聞くよりまず自分で考えてみることです。どうしても分からない時に、周りの人に聞きます。あと一年で私は実習を終えて中国に帰ります。残り少ない時間を大切にしたいと思います。私の手でお客さんに満足してもらえる洋服をたくさん縫いたいと思います。その洋服を着る時のお客さんたちの笑顔を想像してみると、幸せでいっぱいです。

佳作

品質管理

グエン　タイン　ソン
NGUYEN THANH SON
鹿島人材養成事業協同組合／
株式会社カトー

僕が技能実習生として、ベトナムから日本に来て、二年が経とうとしています。
初めは、言葉や習慣、食べ物など色々な事が違い戸惑いましたが、仕事に慣れていくと段々とそういった事などを理解出来るようになり、毎日を楽しく過ごしています。

仕事を始めて、半年位経った頃に外食をする機会があり、生魚や生卵などベトナムではあまり食べないメニューが出て来ました。皆に進められて食べてみると、本当に美味しい物ばかりでした。
それと同時に「何でベトナムではあまり食べないんだろう」という疑問が出ました。

疑問に思いながら、毎日を過ごしているとある仕事をしている時に判った事があります。

僕の仕事は、鋳物製品を作っています。鋳物製品は、普段生活をしていると殆ど見掛けません。でも色々な所で使われています。
製品が、出来上がるまでには沢山管理する所が有り、それぞれの部署で責任を持って作業しています。
会社で働いている人達は全員、完璧な仕事をして、良い製品が出来上がります。
加工が終わった製品など、ピカピカしていてとても綺麗です。

「品質管理」という言葉を教えて貰いましたが、初めは意味が分かりませんでした。
製造している物で、エレベーターのシーブという部品があります。エレベーターに乗っている時などは、絶対に見る事はありませんが、ワイヤーを巻き上げるのに、とても大切な部品です。もし不良品などで故障や事故などが起きれば大変な事です。

「品質管理」とは、お客様が安心して使う事が出来る事なんだと思います。
手抜きをしては、高品質な鋳物製品は出来ません。

生魚や生卵も同じです、品質管理がダメなら腐ってしまいます。
品質を向上するためには、安全に効率良く作業する事が必要であり、グループ全員でミーティングする事があります。

一年が過ぎた頃に、日頃考えていた事を発表しました。ですが日本語がまだ得意ではなくて、うまく伝わりませんでした。それならばと、ミニチュアを作る事にしました。完成して見せたところ「これはイイネ。」という事で採用されました。無事、イメージ通り工場に組み立てられました。結果は、効率良く安全に作業出来るようになり、大変満足しています。でも、改善する所も出て来ました。少しづつではありますが変更していきたいです。
日本製品がなぜ、故障も余り無く高品質なのか分かりました、本当に厳しいです。
日本では、あと一年ですが三年間日本で学んだ事を、これから生かしあとで思い出した時に、良かったと思えるような三年間にしたいです。

佳作

ボルトの教え

ガンバートル　ゾルザヤ
GANBAATAR ZOLZAYA
椿インタワークス協同組合／
藤田螺子工業株式会社

「小さくて、そして多いですね。」

「そうです。ここには小さい物から大きい物まで何千万個とあります。でもこれからは一個ずつ人の命に関わる可能性があります！」

私が実習生として仕事に入った初めの日は、こんな話で始まりました。

私は、私達が日常的に使っている車、家具家などに使われているネジやボルトを検査しています。毎日、何百、何千種類のネジやボルトを、0.01ミリメートルまでの細かい寸法を測っています。そんな小さなネジに人の命に関わるほどの大事な役割があるのだろうか？と私は思いました。すると藤田螺子の社長は、次のようなことを教えてくれました。「ネジは小さいけれど、バラバラの大きい物を結んで一つにしている大事な部品です。例えば、車だったらタイヤやガソリンルームを止めている一本のボルトが緩くなると事故の原因にもなります。なので、この一本のボルトに人の人生を助ける力があるのです。」

社長の話から、その目に見えないほどの小さいものが私達の命を守っていることが分かりました。私は今、毎日仕事をする時、「このネジは誰かの命を守る、誰かの人生を助ける物になる。」と思ってミスをしないように頑張っています。明日、あるいは明後日、このボルトやネジはスポーツ車、またはステキな家になって、お客様を喜ばせると想像していたら、毎日楽しくなってきました。

私が今の仕事から学んだ小さいボルトの教えは、日常生活にも生かしていきたいと考えています。机や椅子、車の部品をつないでいるネジやボルトのように、人の心を接している家族、友達の暖かい心、優しさを大切にしていきたいです。どんなに車や家がたくさんあっても、一緒に笑ってくれる誰かがいなければ、その豊かさは全部意味がないものになってしまいます。だから、「頑張れ！」というひとつの言葉、ちょっとした優しい笑顔、好きという心の動きで人は変えられると思います。私は、どんな小さいことでも心から実行して、自分の生活をもっと豊かに、もっと大きく、幸せになるようにしていきたいです。そして、実習が終わってモンゴルに帰ってからも、この小さなボルトの教えを広めていきたいです。

佳作

兄さんの気持ち

ウラムネメフ　ノミンーエルデネ
ULAMNEMEKH NOMIN-ERDENE

椿インタワークス協同組合／
藤田螺子工業株式会社

私が研修生として日本に来て、約半年になります。日本に来るまでは、どのような仕事をして、どのような生活を送るのだろうと心配する一方で、とても楽しみにしていました。

今私は、愛知県にある藤田螺子工業株式会社で、主に自動車用の組付けボルトやナットの品質チェックの仕事をしています。毎日、製品を一つずつ目視で確認し、お客様に安心して弊社の製品を使ってもらえるようにとても神経を使わなければいけません。簡単そうに見えることもありますが、責任を感じる、やりがいのある仕事だと思っています。仕事をしている中で、兄のことを思い出しました。

私は大学時代、兄と一緒に過ごしていました。兄は、私に言いたい事や注意する事があると、直接怒ったりしないで名言やことわざを書いたメッセージカードを使っていました。そのメッセージカードを読めば、兄が私に何を伝えたいのかが分かりましたし、その中で学ぶこともたくさんありました。

私が日本へ出発する前日、兄はいつものように私の机の上に『どう見ればそう見える』というタイトルの本を置いてくれました。この本は、フランスで働いている人達の生活、労働環境を取材した記録が書かれたものです。その本の中で、次のような内容が印象に残りました。

取材者は、工事現場で働く一人に、

「ここでどのような仕事をしていますか。」と質問をしました。その人はいら立ちながら、「見れば分かるでしょう。これらの石を決まった大きさに割り、決まった場所まで運んでいます。この仕事は大変です。」と言いました。取材者は、そこから少し離れたところにいた別の人に同じ質問をしたところ、

「建設用の石を準備しています。この仕事は大変ですが、家族を養う仕事があることだけで幸せです。」と答えました。また別の人に同じ質問をしたところ、

「聖なる教会堂を建てる仕事をしています。」と答えました。面白いことに、質問に答えた三人は、同じ工事現場で働いている人たちでした。

兄がなぜ私にこの本を渡してくれたのか、日本に来てやっと理解した気がします。家族から離れ、遠くへ行く私に対し、異国での生活や仕事は簡単で楽しいことばかりではないけれども、自分が前向きに考えれば、どんなに辛くても乗り越えていけることを伝えたかったと思います。

同じ環境の中で同じ生活をして仕事をしていても、考え方は人によってそれぞれ異なります。楽しくて幸せと思えばその通りになる、反対に大変で辛いと思えばその通りになると思います。

日本での三年間の研修生活は、私の人生において、一度まり旅であり、チャンスであり、貴重な時間であることに違いはありません。日本での経験から多くのことを学び、前向きに頑張って行きたいです。

佳作

大丈夫だよ

王　　春　花
WANG CHUN HUA
ＥＬＣ事業協同組合／
旭電器工業株式会社

日本のみんなからよく聞く日常用語は「ありがとう」「いいえ」「すみません」「大丈夫」などです。私は、日本での仕事の中で「大丈夫です」という言葉を一番よく耳にします。

先日、先輩が帰国しました。私は先輩の仕事を引き継ぎましたが、その仕事について分からないことばかりでした。そこでリーダーさんから仕事についての方法及び、注意すべきことを教えてもらいました。品質不良の事は特に重要です。私は新しい仕事は苦手でした。仕事が遅くて一日の生産も少なく、とても困っていました。その時、リーダーさんは私を慰め「大丈夫です。最初は誰も分かりません。少し難しいから頑張って」と言ってくれました。私は自信がなかったので、仕事に対し自分に厳しくしていました。不合格か合格か分からない時は、私はリーダーさんに「これは大丈夫ですか？」と聞き、リーダーさんはチェックして「大丈夫だよ」と言ってくれます。それを聞いて、私はやっと安心して次の仕事を始められます。そんな中で「大丈夫だよ」という言葉を私は一番よく聞きます。仕事といえばこの一言です。リーダーさんの「大丈夫だよ」は私にとって一番の自信になります。仕事が上手になって、この仕事をもっともっと好きになりたいです。

日本での仕事は、あと、一年半で終わります。リーダーさんは私を励まし、信頼してくださっているのでとても感謝しています。リーダーさん、本当にありがとうございます。私に言ってくださる「大丈夫だよ、頑張って」は励ましの言葉になります。この言葉は自信になり、自分の夢を実践していける気がします。これからもこの言葉で仕事や日常生活の中で、難しいことが出た時に、自分に「大丈夫だよ。私は頑張れる」と言い聞かせ、一生懸命に仕事をし、日本語を勉強して頑張っていきたいと思います。そして、この日本での三年間で日本人の皆さんと一緒に仕事をして、やさしい笑顔で「大丈夫だよ」とお互いに言い合って、中国に帰っても私の人生の中で一番記憶に残るものにしたいと思っています。

佳作

日本でのこの２年の実習の感想

譚　　立艶
TAN LI YAN
ジェー・オー・ピー協同組合／
シロキ工業株式会社

日本へ来てから２年が過ぎました。時間が本当に速く感じます。２年前には中国で、努力して勉強していましたが気持ちはとても焦り、早く日本へ来たかったです。日本はどんな国なのか、とても期待していました。

日本へ来てから、研修センターで１か月日本語を勉強しました。その時の先生はとてもやさしい人でした。毎日、とても楽しかったです。そして、いろいろな制度を勉強しました。中国と全然違います。あまり新しい環境に適応できませんでした。でも、日本はとても静かで、道がきれいで、私は好きです。

１か月終わってから、会社に入りました。工場で、たくさんの知識を習いました。会社はいろいろな人がいました。最初は、中国人の先輩と一緒に仕事をしました。先輩が国へ帰ってから、私は日本人と一緒に仕事を始めました。

日本語がわからないとき、組長と班長はやさしく、根気強く教えてくれました。

私の仕事は検査です。最初はとても難しいと思いました。毎日、とても心配していました。組長や班長は心配はいりませんと言ってくれました。少しずつ覚え、だんだんできるようになりました。

今まで、いろいろな人から多くの助けを借りました。ラインのスピードは速いし、レーザー機は２人協力して行います。もう一人の日本人はとてもまじめまで、いい人です。そして、早く仕事に慣れるために、頑張ります。

10か月ほど前から、昼勤と夜勤を繰り返している私の体の調子が悪くなりました。組合と会社はとても心配してくれて、いろいろと相談しました。その結果､夜勤をなくしてくれました。ですから、私は今まで以上にもっと努力して仕事をします。本当にとても感謝しています。

会社ではたくさん楽しいことがあります。去年、会社の健康ウォークへ行きました。遠い所できれいな所です。日本には山がたくさあって、木が高いです。疲れましたが、体の１番大切な健康にとてもいいです。

年末には会社からプレゼントをもらいました。くじ引きで二等賞が当たりました。うれしかったです。

この間は桜まつりがありました。いろいろなおいしい物を食べました。でも、私たち実習生が作った料理が１番おいしいかったです。いろいろな食べ物の中から一等賞になりました。

私はだんだん日本の生活に慣れてきましたそして、日本が好きになってきました。これからも努力して、日本での残りの生活を楽しく過ごします。本当に日本に来てよかったです。ここで、いい思い出を作ります！

佳作

私が感じた日本と日本人

温　　雪　娇
WEN XUE JIAO
中部ＥＳＣＯ産業協同組合／
旭産業株式会社

日本へ来る前は、日本人に対して偏見があり、非常に好戦的で野心に燃える民族だと思っていました。日本での２年間の研修生活によって日本、日本人に対しての印象が変わりました。

日本へ来る前によく日本は、「世界一礼儀正しい民族」と聞きましたが、どれほど礼儀が正しいのか想像が出来ませんでした。日本へ入国してすぐに、日本の上品で丁寧な礼儀作法を深く感じました。スーパーで買い物をする時、日本語があまり分からないのですが、日漢字を見て大体の意味が理解できます。会計をする時も、精算機担当の方は動きが上手なだけではなく、礼儀正しく、熱心です。順番に商品の価格やもらった紙幣と硬貨、お釣りがいくらなのかを伝えてくれます。最後に「誠にありがとうございました」と言いながら何回もお辞儀をします。とても礼儀正しくサービスが行き届いていることに対してとても感心しました。

日本の治安の良さに外国人から驚きの声もあります。日本に住んでいると普通だと思うことでも、海外から見ると驚くこともあります。その一つ、私は何度か自転車にカギをかけ忘れた事がありますが、一度も取られたことはありません。もう一つは、100％の安全はありませんが、無人野菜売り場はきちんとお金が入っており、お金も野菜も盗まれることがないことにとても驚きました。実際、私も買ったことがあります。日本の街は警察も少ないです。治安が良くて、国民もいい素質を持っているため、皆は自然に交通ルールを守っています。

日本は、国土が小さく、資源も乏しい、そして、街の道路は狭く、ガソリン代も高い、さらに国民は環境保護の意識が強い、これらの要素が重なり、価格や燃費など経済性や環境に優しい点が注目される軽自動車がよく使われています。軽自動車の普及も日本の文化における「軽」、「小」という特徴も反映されていると思います。

日本の人口は約１億3000万人で、国土面積は37万平方キロで、それに大部分は丘と山ですが、日本は計画出産政策がありません。子供ひとりの出産につき約40万円の補助金が受けられます。日本ではあまり深刻な貧富格差及び都市と農村の格差がなく、国民の社会福祉も十分に保証されています。非常に住みやすい国だと思います。

日本で２年間の研修生活を通して、私は本当の日本と日本人を知りました。この２年間の経験を振り返ると、接した日本人の目の中で、私は少しの敵意を感じることはなく、むしろ善良・友好・礼儀と平和を感じました。日本人は勤勉・団結・善良・理性であり、人々は高い素質と他人への尊重を表しています。日本社会は健康で和やかな雰囲気に溢れており、中国文化の影が濃いです。このような日本人と日本社会は学習の模範となるべきだと思いました。

佳作

研修の旅路

朱　　秋玉
ZHU QIU YU
一般社団法人国際友好ホテル協会／
株式会社八幡屋

中国広州空港を飛び立って、沢山の希望と夢を乗せている飛行機は成田国際空港に着陸しました。まず､活気に満ちた若者が目に入ります。若者達は研修生として知られています。私もその中の一人です。

日本はどんな所かと来る前に想像したのは、静かできれいな道、人々の元気なあいさつ、やさしい笑顔など。しかし、日本に来て半年、私の想像は九牛の一毛にすぎず、日本は、想像以上に素晴らしい所です。以前､「日本の何が心を引きつけますか」という調査をしていました。外国人には、日本の魅力は化粧品と観光地などではなく､日本人自身ということでした。実は、私もそう思います。はじめて日本の電車に乗った時の事です。普通電車と新幹線の違いを伝えることができず、困って乗客に聞くと、切符を買う所から、入口まで教えてくれ、乗り換えも紙に書いてくれました。中国で聞いたら、多分別の方向をさすだけでしょう。日本人の思いやり辞書で言うように、かゆいところに手が届きます。「思いやり」の意味が理解出来ている人が沢山いますが、うまくやっている人少ないと思います。

日本人感謝の心にも敬服します。私が研修している旅館「八幡屋」は代表的な仕事です。八幡屋は100年以上の歴史があり、ホテルサービスも日本の伝統の精華です。玄関で社員は綺麗に並で、お客様来るとお辞儀をします。お客様が帰るもお辞儀をして、お客様が出口を離て見えなくなるまでも手を振るというのが八幡屋のお出迎とお見送です。初め私は理解できず、など毎回も出迎と見送をするのか。とたずねところ､「お客様のお越しは､ホテルにとってとても大切です。だから、必ず心から感謝の言葉と動作をはっきり表し。お客様を満足させる事が私達の仕事というより責任と義務です」と言われ、私はやっとその意味の価値を理解しました。日本の感謝の心を表すのに､「魚心あれば、水心」ということわざがあります。「自分が好意を示せば、相手も好意を持ってくれる」そんな教えがあるからこそ、心を込めています。

日本語の学者が研究したいのは「日本文化」だと思います。私はずっと日本文化や礼儀も中国と同じで、方法は違っても良い事に変わりはない。昔から中国は礼儀の国と呼ばれています。しかし、今の中国は外来文化の影響を受けすぎて今の若者は他国の自由とカスタマイズを追求してばかりいます。だから、もともと保有している良いものを次第に失っていると思います。

私は中国若者として､日本語の研修生として、日本良い所を他の人に伝える責任があると思います。研修は長い旅路の第一歩にすぎない、踏み出した以上は、もっと一生懸命ステップバイステップで前進して行きたいと思います。

佳作

実習感想

李　斌
LI BIN
ビケ足場仮設事業協同組合／
株式会社ダイサン

私は中国から来た､実習生リヒンと申します。中国で足場の仕事をするという自分の夢が実現できるように日本へ来ました。初めて日本に来て、日本の環境保護がよくて、町も静できれいで、高度文明を感じました。今私は足場の会社「ダイサン」の埼玉サービスセンターで働いています。もう２年４か月目になっています。とても早かったです。初めて日本に来て、入社した時、自分は日本語もよく分からなくて、足場の仕事もよくできなくて、生活が難しかったです。実習生活の始めの２、３か月間は一番きつかったです。先輩とチーフに仕事のやり方違うところや駄目なところをたくさん言われました。その時から私はみんなに言われないように日本語と仕事を勉強しがんばろうって思ってやりました。大変でした。そして日本語と仕事もだんだん分かってきました。今、もう二年四か月目になっているから、日本語と仕事も上手になっています。今まで私はいろんなことを感じました。足場の仕事は大変です。私にはちょっと重かったです。体は最初とても疲れました。一番きついのは夏です。非常に熱いです。昼間が長くて、天気もすごく熱いです。動きたくない気持ちになります。一言で言えば「やばい」です。毎日ちゃんと塩分と水分を補給しないといけません。私はそう言う風にやっているけれども、一年目の時は熱中症になりました。危なかったです。しかしこの仕事はきつくても大切な意味があります。三年間日本で足場の知識をいっぱい勉強できて､それは中国に帰ってから、とても重要な助けになります。毎日疲れてもいろんな形の足場組立て解体するのはおもしろいところもあります。仕事の移動中外のいろんな景色を見れます。特に桜が咲いている季節はお花を見ながら、ドライブしてとても嬉しくなります。それで気持ちがよくなって、体も楽になります。

一年に三回の長い休みがあります。私は友達とたくさん有名なところに行って見ました。上野動物園に行ったり､スカイツリーに行ったり、横浜の中華街に行ったりしました。とても楽しかったです。もしひまな日でチャンスがあれば、友達と一緒に富士山やディズニーランドへ遊びに行きたいです。

もうそろそろ私の実習生活が終わりに近づいています。私は会社の社員や先輩と仲良くして、友達になっています。所長もやさしくて、面白くて、いい所長です。日本に実習に来て本当によかったです。足場のやり方や知識が勉強できて､体も強くなって､とてもよかったです。もしチャンスがあればまた日本に帰って来たいです。最後に会社と組合のみなさんに感謝いたします。誠にありがとうございます。私から以上です。

実習生　李　斌
2015年５月１日

佳作

「メモを取る」

レー　ティ　フーン
LE　THI　HUONG

協同組合ＪＢ／
株式会社原製作所

日本に３年間しか働かないですが、日本の良い印象は私の心にいっぱいになりました。

ベトナムで日本語を勉強するとき、日本について先生から聞いて、インタネットでも調べていましたが、日本に来て本当にびっくりしました。日本語が難しいですが面白いと思いました。それに、日本語もきれいな言語です。「ありがとう」、「いってらっしゃい」、「おかえりなさい」…と聞くと人の心もあたたかくなります。ほかに、交通ルールを守り、コンピーニの便利、花火のすてき、公園で花見を楽しみ…本当に言葉だけでこんな感じを伝えられません。だから、もし日本が大好きだったら、日本のことだけ聞くと残念だと思います。ぜひ、一回来てください。

日本にいる時間は長くないですが、私にとって大変大切と思います。いろいろなことを勉強できて良かったです。日本人と一緒に働いて、暮らして自分のことを多少変わりたいです。皆から教えてもらったのは責任を持つこと、もったいないしないこと、いつも頑張ってまじめに仕事することです。でも、はじめて印象があるのは「メモを取る」です。

私の会社はプラスチック製品を成型することです。会社に入って中村さんに会いました。彼女の仕事は毎日、うちの会社とお客様と連絡します。面倒くさい仕事と思いますが、彼女はうまくできています。「すごいですね。仕事は細いことばかりですが、ぜんぶでできてすごいですね」と私から聞いたら、彼女は「じつはヒケツがあるよ。これだ。」と言いながら小さいノートを見せました。「なるほど、毎日、メモを取りますから」とわかっています。気になって、周りの人に注意すると中村さんだけではなく会社員はメモ帳を使っています。そのときから、私も「メモ取り」をはじまりました。

「メモ取り」のために、私は時間を管理できます。「時間は作られない物ですが、時間の経つのは早いです。」この簡単な定義はわかりますが、ずっと無駄の時間が多いでした。「メモ取り」を守ってスケジュールを立てて、できることはだんだん多くなります。

「メモ取り」のために、私の仕事も勉強もうまくできます。目標を立てて、目標から何をやらないと行けないことをメモして、一つずつ実現します。メモを取ったら、細かくても忘れません。本当に便利です。

３年間は短い時間ですが、研修生たちにとって良いチャンスだと思います。将来のために今から自分のスケジュールをメモしてはじまりましょう！

佳作

感動

韩　璐
HAN LU
協同組合企業交流センター／
株式会社日本アシスト

八年前に川端康成の文学作品を読んでみました。名前は「伊豆の踊子」でした。何回も読んでも、飽きはなかったのです。その極めて純情で唯美で朧な恋は、味わいが尽きなかったのです。その時の私はこんなロマンチックな愛情がある日本がきっと私をどこかで感動させるに違いないと感じました。その後、私はいつか自分もこの神秘な国土に踏み出すことを願っていました。そして、一年前に、日本にやって来ました。実習に来ました。

初めて日本に入った時、自分はまるで赤ちゃんのように、全く知らない世界ですが、なんでも新鮮に感じました。わくわくしながらも、心配はいっぱいでした。どうやって人と付き合うか、どうやって生活に早く慣れるか、どうやって仕事を上手くできるか、等の難題に自分を悩ませました。しかし、本当にこちらの人や物事に触れると、そのような心配は必要がありませんでした。こちらの人々は熱情を持ち私を受け入れました。私も知らず知らずのうちに、彼らたちの中の一員になりました。生活であれ、仕事であれ、言葉は私たちをつながる絆となっています。私の文法は間違ったり、どう表現すればいいか分からなかったりしたら、彼らたちはいつも熱心に教えてくれたり、正してくれたりします。その熱情は目から見える真心です。異国に居る私を心から感動させました。近隣間に気を配ること、道に迷う時の他人の手引きなど、どれも私に異国に居ても寂しくないと感じさせました。

日本の生活に少し慣れてから、住んでいる都市である東京に対する好奇心が湧きました。東京は私が定義したように繁盛で賑やかな町ではないです。案外静謐を染み通っています。

その静かさは何処へ行っても、大声で話す人がいません。何処へ行っても、自動車や自転車の注意促す警笛が聞こえません。私は以前一つの場面を見たことがあります。それはある一人の老人は横断歩道を渡している途中に赤信号がなりました。通行の車両は皆、静かに待っていました。これは多分日本で極普通の現象かもしれません。だが、これは一体どんな文明なのかしら！私はただ日本の社会のこの一角を見ただけですが、この一角だけから十分日本人の生活中の態度が現れますね。この科学が発達し、国外の文化がどんどん伝わってくる今日、日本は現代化の息を吸い込むだけではなく、自分の民族の特質も保留しています。こういう高標準の文化を持っている日本は世界でも一番だと思います。

もう少し細かく観察すると、ただの一日でも、貴方は日本という民族の良さを色んな面から分かれるとしみじみ感じています。ここでは一々あげられないですが、本当に日本に来る前に思った以上に感動しています。ですから、この感動を中国に帰ったら、持って帰って、周りの人に接したいです。

佳作

最大の努力で何事も克服

王　　暁　華
WANG XIAO HUA
オービーシ協同組合／
有限会社ソノダ

１年前に日本に来ましたが､日本に来る前は、期待が半分、心配が半分でした。日本の文化や生活習慣は中国とは違うし、いちばんの心配は言葉の違いです。日本語の先生たちは､「日本語をしっかり勉強しないと大変です。」といつも言っていました。だから、私は中国にいる間に日本語の勉強を一生懸命しました。それでもなかなか上手にならなかったので、びくびくしながら日本に来ました。

そんな気持ちで会社に来ましたが、配属の初日、ちょっと安心することが出来ました。会社の人は皆やさしいです。

仕事が始まったら、先生や先輩たちはいろいろなことを教えてくれました。けれども、仕事はいろいろな規則があってとても厳しいです。決められたことを守り、丁寧に仕事をしないとクレームになります。検品も一度にたくさんの箇所を見なければいけません。慣れない私はとても緊張しました。この仕事を熟す能力があるかどうか心配になり、時々ホームシックになりました。でも投げ出すことはできません。私は「最大の努力をすれば、この世の中で出来ないことはない」と信じていましたから、毎日、笑顔で元気に挨拶をして、真面目に仕事を続けました。解らないことは先生たちに聞いて、少しずつ覚えていきました。

頑張った甲斐があって、今は仕事にも随分慣れました。でも、機械のスピードが速いとき、全ての検品が出来ません。その時はこの25枚は糊だけ見ます。次の25枚は折れを見ます、それで不良があったら見つけられます。と先生が教えてくれました。このようにして難しい仕事でも、正確で簡単な方法を考えてやっていこうと思います。

それでも、不良を見つけられない時があります。そんな時は全部検品します。他の人にも迷惑をかけて、申し訳ない気持ちでいっぱいですが、先生たちは私を非難しないで、逆に励ましてくれました。これが社長がいつも言っている「一人は皆の為に、皆は一人のために」ということだと解りました。

まだこれから２年間日本にいます。日本の文化や、先進の技術を勉強して、見聞を広めていきます。きっと中国に帰ってからの生活に役に立つと思います。３年間の実習生活がいい思い出になるよう、最後まで頑張りたいです。

佳作

一期一会

田　　如　梦
TIAN RU MENG
ジェー・オー・ピー協同組合／
株式会社味菜

早いもので日本に来てもう２年半です。今年の九月で帰国することになります。私は技能実習生として日本に来ることは一生に一度かぎりであることです。時間がたって振り返ってみると、感動したことや残念なことや幸せなことがいろいろあります。私は今まで一番残念なことがあのことだと思っています。

あの日は急に残業しましたから、食べ物を何も持って来ませんでした。私は実習生の皆と休憩の時間がすれて一人で食堂で休憩しました。おなかがすいて力が抜けてしまいました。「デンちゃん、一人で何をやってる？」「今日残業があるから今休憩中です。お爺ちゃんも残業するの？」「そうよ。おやつとかは何も食べないの？」「あ、急に残業するから何も持って来ないです、おなかがぺこぺこになってるげと。」「このパンをあげる、食べなさい。」「ありがとうございます、いただきます。」私と話す人は会社の大沼さんです。大沼さんのパンを食べてからなんだか元気がでてきました。私は日本にいる間、美味しいものをいっぱい食べたことがあるけど、あのパンの味を思い出して何の美味しいものより美味しいと思います。

その数月後、大沼さんは定年になりました。最後の日大沼さんは工場の中で工場長さんだけと挨拶しました。私は大沼さんに挨拶に行きたかったけど、あの時私は仕事をしてたからできませんでした。

大沼さんもこの町で住んでいるから、まだ会えると思います。会ったらしっかり挨拶をしたいです。でも、この小さな町で大沼さんに一度も会ったことがありません。私はまだお世話になりましたと言いません、それは本当に残念なことだと思います。

私はそろそろ国に帰りますから、残念なことを起こさないように、別れの時、やっぱり一期一会の態度を見せなきゃ。一言多く言えは言えるほど、最後の一言になるかもしれません。一目多く見れば見るほど、最後の一瞬になるかもしれません。帰る時、きちんと皆に日本にさようならと言いたいと思っています。

2015年外国人技能実習生・研修生日本語作文コンクール優秀作品集

2015年10月発行

非売品

編集・発行　公益財団法人 国際研修協力機構
〒105-0013
東京都港区浜松町1-18-16　住友浜松町ビル 4 階
電話　03-6430-1100（代表）
FAX　03-6430-1112
ホームページ　http://www.jitco.or.jp/

JITCO